京城日報

本紙定價　一箇月金六拾錢　……　廣告料　……　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社　發行兼編輯人 小川三之助　印刷人 [illegible]　電話 [illegible]

五月八日夕刊 (朝刊併せて八頁)

◇獨調印拒否二説
結局調印の外無からん
外相は極端なる拒否論者

獨逸政府部内は對講和策に就き調印説と拒否説との二派に分れ外相ブロックドルフ、ランツアウ伯は強硬派の巨魁にて聯合國は過激派の跳梁を虞れ強壓手段を執るの勇なく結局讓歩す可しと觀察せる者の如くハーゼ一派の急進黨は現政府は勢力微弱にて到底聯合國に對し強硬なる態度を執る能はず故に調印の外無かる可しと觀察し實業側は假令條件苛酷に失するも懼るる所は賠償金の高に非ずして過激主義の蔓延にあり聯合國の對獨封鎖撤廢は獨逸産業救濟の唯一手段なれば速かに講和せん事を希望しつつあり結局調印の外無かるべしと(巴里電報)

◇對獨條約文提示
十四日間の猶豫を與へらる

講和條約文は七日獨逸講和委員に提示さる可く而して獨逸委員は其回答を文書に認め提出する事を要求され同時に十四日間の猶豫を與へらる可し條約文は英國政府のホワイトペーパーに似たる一冊の印刷物たる可く其の英譯文は諸所に不完全なる點あるを以て調印の際は佛文のもの、み使用さる可しと(巴里電報)

◇支那委員不滿

支那講和委員は陳述書を發表し山東問題解決に不滿足なりと述べ之れ北支那の支配力を日本に許容するものにて英、米、佛三國は從來支那に於て獨逸が所有する同一の地位を日本に與ふるものなりとせり(巴里電報)

◇暴動首魁放免懇請

廣昭橋、朱啓鈐兩氏並に各大學生等は北京暴動の首魁たる學生を放免せん事を徐總統宛て懇請し又新聞國民も同樣電報を發せるが中には之等學生を死刑に處し且つ北京大學を解散すべしと主張するものあり(上海電報)

◇張巡閲使の訓令

張巡閲使は去る四日北京に勃發せる排日學生團の暴動事件に關し其餘勢の管下學生に波及し來らんことを憂慮し此の際各學生は輕擧妄動を愼み專ら學事に勉勵すべく萬一違ふものあらば嚴重處罰すべき旨の訓令を管下各方面に發したり(奉天特電)

◇島技監動靜

日支鐵道會議終了後中支方面視察中なりし島鐵道院技監は歸任の途次七日午後七時三十分來奉ホテルに一泊八日撫順視察の上朝鮮經由歸東の豫定なり(奉天特電)

◇村野代議士視察

北滿方面視察中なりし村野代議士は七日午後四時二十分來奉したるが青島濟南地方より中支方面視察の途に上る筈(奉天特電)

◎獨逸二股主義
右手に米左手に伊

◎獨逸講和委員外相ランツアウ伯以下十數名の委員はワイマール出發既に巴里に着したるが伊國の主張に係るフューメ問題は今尚解決の端緒すら發見する能はざる爲めヴェルサイユ會議は大に煩悶の狀況にありフューメ問題の何とか解決せざる限り會議は獨逸と談判に着手する能はざるべしとは一般の觀測である

◎獨逸委員の魂膽は斯くも有るべきかとて某外交通はヴェルサイユ會議に警告せるが右の觀測に依れば獨逸委員は元來ウイルソン氏の十四箇條を以てするに非ざれば斷じて調印せずとて何處迄もウ氏を利用し英佛を壓迫せんと企て居るもの、如く會議に於ても獨逸の態度は頭痛の種となり英佛は如何にしてウ氏の機嫌を損ぜずして其の主張を貫徹せんかには可成の苦心の存じたる所にして終に◎モンロー主義の橫紙破りを敢てするもウ氏に許しライン左岸問題及びザール問題を片づけたる程にてウ氏の立場に於てはせめてフューメ及びダルマチヤに對する伊國の要求だけは斥けて非併合の聲面を裝ふの必要ありたるを以て終にオルランド全權を無視して宣言を發表しウ氏の決心の存する所を明白にしたる次第なるが獨逸は一方に於て伊國に秋波を送り◎單獨講和の魚心あるを示し一方に於てウ氏に頼り此の二つのデリケートなる外交關係に處して巧に會議を攪亂せんとするに非ずやとはランツアウの心事に對する一面の觀測にして此點に於ては英佛は砂ならず煩悶せるもの、如しと

◇逝去の説ある章宗祥氏

◎切手別納郵便
制度發布

從來通常郵便物は約束郵便と稱し一定數以上のものは全部郵便物一個毎に相當料金の郵便切手を貼付し差出すべきことなり居れるも九日總督府令を以て發布即日より施行のこと、なれる切手別納郵便制度に於ては内容を同じうする通常郵便にして百箇以上を差出す場合は其の郵便物の總個數に對する料金相當の切手を前納すれば從來の如く一個毎に切手を貼付するの煩を免れ得べく平素郵便物の差出多き官廳會社銀行等に取りては甚だ便利となりたる譯なり

▲日附押捺省略

別項切手別納郵便制度の發布と共に本郵便物の引受を爲す郵便局の指定並に本郵便物に付事務の簡捷を期する爲め引受及び到著通信日附印の押捺を省略し得べき旨九日總督府官報を以て告示さるべし因に指定されたる郵便局中京畿の分を擧ぐれば左の如し

京城郵便局▲西大門郵便局▲南大門郵便局▲光化門郵便局▲龍山郵便局

◎郡改稱と移轉

九日總督府令を以て江原道杆城郡を高城郡と改め郡廳所在地を高城面東里に移し來る十五日より實施さるべき旨發布さるべし

▲面管轄替

別項郡名變更の府令と同時に江原道通川郡臨南面長箭里花陵里沙湖里及び南涯里を高城郡に高城郡竹田面及び土城面を襄陽郡に編入すべく九日府令を以て發布五月十五日より實施さるべく因に新設高城郡廳は廢館の都合上本年度内に於ては廳舍新築不可能なるを以て高城所在公立普通學校附屬建物に若干の修理を加へ假舍に充つる豫定なり

◎客月貿易
輸移出入共增加

四月中の貿易額は輸移出一千四百四十四萬餘圓輸移入二千百七十四萬餘圓合計三千六百十八萬餘圓にて前年同月に比し輸移出六百二十四萬餘圓輸移入九百二十五萬餘圓合計一千五百二十八萬餘圓を增加せり而して一月以降累計貿易額は輸移出六千三十二萬餘圓輸移入七千六百三十五萬餘圓合計一億三千六百六十七萬餘圓にして前年同期に比し輸移出二千二百九十三萬餘圓輸移入三千七百二十五萬餘圓合計六千十九萬餘圓を增加し輸移入超過額一千六百三萬餘圓を算せり次に出入貿易の内容に就き前年同月と比較觀察するに

▲輸移出 に於て米は本月に入り内地相場再び硬調を呈したるに伴ひ相當の出荷を見たるを以て數量十九萬八千餘石價格三百三十萬餘圓を增加したるのみならず鹽移出税の撤廢と共に久しく不振なりし大豆六十七萬餘圓牛皮十一萬餘圓の增進を示し其他魚類六十九萬餘圓棉花四十六萬餘圓織類六十七萬餘圓鐵鑛九萬餘圓合金銀粗銅八萬餘圓を增進せり之に反し減少せるは小麥十三萬餘圓石炭の二十萬餘圓鋼塊及び錠の九萬餘圓等なり

▲輸移入 にありては消費税賦課に由る見越移入の反動として砂糖十六萬餘圓賣行不良に基づき米三十萬餘圓を減少せる外各品一齊に增加を示し就中綿絲布類は客年以來在荷薄底に依り一時買付控へなりし結果として既約品の入荷を促し續々盛況を極め綿織絲四十餘萬圓金巾類百三十七萬餘大巾布十二萬餘圓日本木綿三十三萬餘圓を增加し粟ゝ赤綾々先約品の入荷を見たるを以て百二十二萬餘圓の增加を示し其他支那麻布八十一萬餘圓石炭四十四萬餘圓石油三十三萬餘圓小麥粉十三萬餘圓金屬十二萬餘圓諸器械十一萬餘圓等增加の主たるものなり

◎ケ札流通禁止
オムスク政府藏相の聲明

「ケーレンキー」二十留及び四十留の流通禁止に付オムスク政府大藏大臣の聲明左の如し(哈爾賓電報)

吾が名譽ある軍隊は逐日進軍を繼續し今や

▲露國の中心 たるモスクワに近接しつゝあり西伯利亞軍の威力ある秋霜烈日の如く過激派軍を掃蕩し得るの日必らず近きにあるべきを信ず然しながら彼等は單に軍事的行動のみを以て吾人に對抗するものにあらず尙ほ他に有力なる武器を有す即ち紙幣の印刷機之れなり過激派は此の印刷機を以て晝夜發行所謂『ケーレンキー紙幣』を製造し歐露に流通せしめつゝあるは吾軍が過激派を破滅する地方に於ても常にその地方より過激派紙幣は滔々として侵入し爲めに物價騰貴し住民の生活は愈々困難を加ふるの狀態にあり斯て紙幣を以てしては何等の物資をも購求すること能はざるの時代あるを出はしむ過激派の紙幣印刷高は一千億留以上にして其の内約八百億は『ケレンキー』なり而して廿留四十留の『ケレンキー』は其印刷頗る容易なると同時に僞造も亦容易にして爲めに現今僞造『ケレンキー』の

▲市場に流通 するもの頗る夥しきものあり是に於て乎吾政府は過激派勢力より回復せられたる住民に對し過激派の遂行したる掠奪強迫乃至國家組織の破壞により及ぼしたる影響の繼續を一日も默過する能はざるものなり況んや現に過激派の發行せる大部分の紙幣が吾政府支配内に流通せられ居るに於てをや、乃ち之れが對應策として政府はケレンキーの無効を宣言する意向にて將來之を紙幣と認めざる旨の告示をなす事固より可能なりと雖も政府は此等ケレンキーの大部分は過激派權下より回復されたる地方に集中し然も同地方の住民が當時過激派權力と爭したる際犧牲の代償たるを認むるが故に此等住民の利益を保護し以て破産に瀕せる窮狀を救はんと欲するものなり依てケレンキーを所持する者は本年五月十四日迄に遲滯なく最寄の貯金局若くば信託組合國立銀行支店國庫支金庫に其の預金として提出すべし而して二十留並に四十留券を五月十四日までに前記の信用機關に提出する事能はざるものは尙ほ一箇月の期間内即ち六月十四日までに上記のに

▲信用機關に 提出する事を得べく然る時は前記の機關より領收證を發行し該領收證の文面には提出者に對しその提出せる金額二分の一は前記信用機關に於て現金在高に應じ本年六月十五日より千九百十九年十二月三十一日までに夫々現金を以て其の一部若しくば全部を支拂ふべき事を記載し且殘りの半額に對しては二十箇年無利子國庫債券を交附すべき旨を記載し乃ち殘り半額は國家の負債にして千九百二十年七月一日より起算し二十箇年拂として毎年債務の二十分一宛を償却するものとす本年六月十五日以後ケレンキーを所持するものは該ケレンキーは頗る低廉の價格を以て取扱はるゝに至るべし

◎干潟地開墾

内閣拓殖局長官古賀廉造氏外一名より出願中なりし忠南牙山郡仁州面文方里に於ける五百二十七町歩の干潟地開墾五月三日附貸附を許可されしがその利用目的は田及び畓にして貸附期限は大正十五年十二月末日までなりと

◎韓一銀行增資

株式會社韓一銀行は去る七日銀行集會所に於て臨時株主總會を開き現在資本金五十萬圓を一百五十萬圓に增加し現在諸積立金及繰越金二十三萬八千餘圓を其儘保留し現在株主に對し一株に付き二株の優先權を附與する案を提出したるに滿場一致原案を可決したり

◎府協議員會

京城府に於ては過般府協議員會開催八年度豫算案に就き協定する所ありたるが道長官に對し六日附許可の申請を爲したり

◎仁川取引所 大株主會合

仁川米豆取引所新株拂込み後に於ける臨時總會は第一回拂込み確定後其通知を發する事となり目下各地の確定通報を俟ちつゝあるを以て一兩日中其手續を了すべく而して開會期日は二十日以後二十二三日の頃となるべきか今回の臨時總會に於ては最も重大視せらるゝ重役選任の件其他重要事項となるべきを以て會社に於ては豫め之が方針内容に就き意嚮を纒むべきの必要あり之れが爲め來る十四日百株以上の大株主を召集して内協議を爲し其他諸般の件に就き協議すべしと

◎兩社重役協議

朝鮮電氣興業會社專務米山久彌、風間禮助の兩氏は七日夜入城川上東拓理事も同行歸來せしが川上氏の東上は一兩日中に付八日は松平川上兩社長米山風間兩專務等東拓高級社員と朝鮮興業事務所東拓支店上に集合し社務に付き諸種の打合せをなしたり

◎水産品製造額

釜山水産製造品檢査所に於て施行せられたる四月中の成績は三千九百六十八個内五百十三個の不合格品を出し三千四百五十五個の合格品を見るに至れり其主なるもの擧ぐれば左の如し

海參(九十一個)、乾鱈(十三個)、乾鰯(三百九十五個)、鯣(五百九十五個)、鹽鯖(七十二個)、乾蝦(三十個)、乾牡蠣(二個)其他の水產肥料(一千五百九十七個)

是等は大部分長崎、神戸、或は下關を中繼し支那に輸出し其内水產肥料は全部内地に移出せしも本年は北海道鰊の大漁なりし爲め朝鮮產の水產肥料は非常なる打擊を受け一般[illegible]業網は事業を縮少しつゝありと(釜山)

◎京畿畜牛出產數

七年中に於ける京畿道管内畜牛の出產數は牡牛一萬一千四百二十頭、牝牛一萬二千百六十八頭、合計二萬三千五百八十八頭にして前年に比し五百九十七頭の增加を示し其の斃死數は牡牛四百四十五頭、牝牛四百四十四頭合計八百八十九頭にして前年に比し八十七頭增加し屠殺數は牡牛各一頭にして前年に比し一頭を減じ屠殺數は牡牛二萬三千七百四十三頭、牝牛一萬八百九十六頭、合計三萬四千六百三十九頭にして前年に比し一萬六千百七十六頭增加せりと

◎家畜家禽數

七年十二月末日現在に於ける京畿道家畜及び家禽數を調査せるに牡牛五萬三百六十七頭、牝牛六萬一千六百七頭、合計十一萬一千九百七十四頭、馬一千三百八十九頭、驢三百五十三頭、騾七十頭、豚七萬四千六百四十三頭、鷄四十三萬一百二十一羽にして前年同期に比し [illegible] 二十八羽を增加し馬二頭 [illegible] を減少せり

◎總督夫人著期

長谷川總督夫人は侍女を從へ七日午前八時東京驛出發八日朝下關着同夜の連絡船にて渡鮮九日午後七時五十分南大門驛着入城の豫定なり

◎入見局長東上期

東京 東拓理事就任内定せる鐵道局長入見次郎氏は退官の手續を終りて來る二十日頃東上すべく廿二日開會の會社株主總會に列する豫定なりと

◎工藤道長官入城

平安南道長官工藤英一氏は事務打合せの爲め往復四日間の豫定を以て出府を命ぜられ七日朝入京八日總督府に出頭したり

◎三島頭取視察

三島殖產銀行頭取は森勸業金融課長渡邊秘書役帶同九日午前七時三十分南大門驛發列車にて全羅忠淸四道主要地の視察をなす由なるが日程左の如し

九日龍山發同夜公州宿泊、十日正午鳥致院午發(?)、十一日公州實行、十二日論山午發同夜全州着、十三日實行、十四日今堤年發同夜木浦宿泊、十五日實行、十六日禮在打合會、十七日光州着十八日實行、十九日禮里午發群山着、二十日群山實行、二十一日江景午發、大田晩發行 同夜十時三十分着城

人事消息

▲川中三雄氏(總督府事務官) 慶南に關する民情視察の爲め江原道管内へ出張中七日歸任
▲德光總明氏(代議士) 八日朝釜山上陸十時特急にて北行(釜山特電)
▲河内山樂三氏(朝鮮總督府事務官) 八日朝入城朝鮮ホテルへ
▲長岡[illegible]氏(朝鮮商業觀察團) 八日朝入城
▲吉田勇氏(東拓殖產課長) 入日還城
▲川上常郎氏(東拓理事) 平壤出張中の所七日夜歸城
▲米山久彌氏(朝鮮電興專務) 同夜入城
▲風間禮助氏(同上) 同上

八面鋒

◇巴里の外交界は、今や頗る微妙なる作用を以て、進展しつゝあるもの、如し、伊太利のフューメ問題又は對獨講和條件に見よ、伊太利は妥協點を發見[illegible]と云ひ、獨逸は調印せざるべし、然れども再戰の實力なし、聯軍はフオッシュ將軍をして、ラインに進軍せしむべし、然れども、鬪志のあるに非ずと、若し夫れ、果して事實なりとすれば、講和會議の應酬は、個々微妙の作用に入り、虛々の間、實々の鬪爭、思ひ半に過ぐるものあるべく、雨か風か、未だ容易に、何人も判斷を下す能はざるべし

◇山東問題解決と共に、支那の態度如何は、重要なる問題也。悲觀か樂觀か、前者を以てすれば、支那は元より他の方法に於て、復讐の手段を行ふべく、されば對支關係は益々厄介となり來るべし。後者を以てせば、支那はお得意の以夷制夷の策敗れたるより、誠意を以て日本に對するに至るべく、日支の關係は却つて親密たるべし。所謂雨降つて地固まるの例なりとなすものあり、吾人其何れを知らず。然れども前者に非ずんば、兩國の爲め幸也

◇北京騷動の中心が、北京大學生なる事は、電報に依て明か也。北京大學は基督敎主義の敎育を施す目的を以て、米人宣敎師が千八百七十年、小學校として創立したるが濫觴にして、爾來逐年校勢隆興、其の結果千八百八十八年に至り、大學制度に組織を變更し、以て現在に及べる、古き歴史を有し、多數學生を收容するのみならず、外人教師の數も、亦實に二十餘名に達し居れり。

◇されば同大學は、北京に於ける米國式の學校と見做し得べく、而して今回の不祥事件突發が、同校學生を中心とせる點に於て、其裏面の消息を推測するに難からざるべし。山東問題は、一個の導火線にして、其一擲に蹶起せる理由の、他に存すべきは、心ある者の察知する處也。學校の罪か、露國の罪か、支那の基督敎は遂に好んで、人の子に罪を犯すべく宣傳せられたるか。

商業登記

合名會社開城社代表社員金鎭雄、朴泰鈺、金鎭基ハ大正八年四月參拾日任期滿了ノ處金鎭雄、朴泰鈺ハ重任シ左記者同日代表社員ニ就任シタリ
開城郡松都面池町六百六拾七番地 金鎭基
右大正八年五月五日登記
株式會社韓一銀行ハ大正八年五月五日左ノ處ニ支店ヲ設置シタリ
京畿道仁川府本町四丁目七番地
右大正八年五月六日登記
京城地方法院開城支廳

一、旌善金融組合登記事項中出資總口數五百九口拂込ミタル出資總額ヲ金八百七拾八圓ト變更ス
右大正八年四月參拾日登記
京城地方法院旌善出張所

商業登記

株式會社朝鮮殖產銀行ハ大正八年五月五日左ノ所ニ支店ヲ設置シタリ
京畿道仁川府本町四丁目七番地
右大正八年五月六日登記
海州地方法院沙里院出張所

法人登記

金化金融組合登記事項中監事任期滿了ノ處大正八年四月參拾日定時總會ニ於テ李泰穆再選重任シ金化郡金化面邑里六百拾七番地朴東駿ハ金化郡西面道昌里六百參拾七番地申德均當選就任ス
右大正八年五月六日登記
京城地方法院金化出張所

仁川本町 白神洋行
洋鐵鋼、諸機械 工具附屬品一切
金物商
月刊物價表 御申越次第進呈
京城南大門外 白神洋行支店 平壤本町

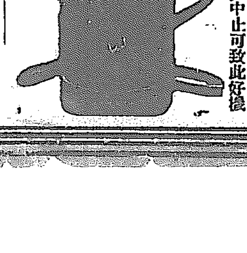
うづら分讓
採卵用、鮮用、產卵 三十日雛 四十日雛、六十日雛 詳細五錢郵券送れ
京城南米倉町市場 岩城商會養鶏部

解雇廣告
西村定介
右者都合により解雇致候間爾今弊店とは何等關係無之候に付此段廣告候也
京城黃金町一丁目 三巴京城支店

カラ ワイシャツ 手術服 仕業服 看護服 製造販賣
東京より新に一流の職人多數を招聘 仕立方極々念入り品質優美 市内御一報次第參上 地方はハガキにて御通知次第定價表送附仕候
京城黃金町三丁目電話一〇八七番 東屋裁縫店

保險金受領廣告
一金壹千圓也
被保險者 佐藤淨信
右者昨年十一月中日清生命保險株式會社と保險契約致居候處先般死亡に付頭書の保險金當地代理店大石長作殿經由正に受領仕り候茲に生命保險の人生に最も緊要なる事を謹告候也
大正八年四月
忠淸北道忠州 佐藤龍信

(新案特許)半額割戾賣出開始 及 割引
一賣出期間 五月一日より五月二十日迄二十日間
一割戾方法 地方より前金にて御注文に限り(代金引換の御注文を除く)普通郵便小包引受局所の引受番號の末位が各五に該當せるもの(例へば十五號三十五號百二十五號等の如き)に對し郵便局所に於て添付せられたる番號票(切手貼付しあるもの)を添へ購買者より請求有次第代價の半額に相當する代理部發賣の品は何品に不限即時贈呈可致候
一割引方法 市内の方其他直接御來店の上御買上に對しては前記割戾の代りにすべて定價の一割に相當する前同樣の物品を贈呈可仕候
以上最も趣味ある賣出しは期限後は絶對に中止可致此好機を即時御利用の程願上候
保溫二十四時間 保冷四十八時間
魔法瓶
家庭旅行の必要品



定價	上製	特製本皮卷
水筒形四合入	貳圓六拾錢	三圓二十錢
同 三合入	貳圓參拾錢	二圓八十錢
同筒形九合入	參圓參拾錢	三圓
同 三合入	壹圓九拾錢	二圓六十錢

外に地方小包送料壹個に付金二十四錢
京城大平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇・六〇九番 振替京城二〇〇番

◎旅行中ノ處歸鮮ス
京城太平通二ノ三六・電話長一八一三 釜山日報支局前 京城分析所 主
京城明治町二ノ九・電話長一七七一 支那領事館前通 田部分析所 主

卸小賣商
營業科目 糸 ひも 類 刺繍用具及材料 裁縫用具材料 造花用具及材料 嚢物用具及材料 摘細工用具及材料 編物用具及材料 美術竹細工
京城本町二丁目明治町入 尾琴屋 電話一三五九番

箱材受負
素麵箱、果物箱、石鹸箱、其他
右格好の材料豊富に持合せ薄利にて御高需に可應候間多少共御用命願上候
熊野商會製材工場 京城府古市町 長電話一八二番

◎男工 鞄職工及見習工募集
年齢拾六七歳以上二十七八歳迄 日鮮人五拾名以上
右希望者は至急左記へ御來談被下度候
京城本町一丁目三六 高木鞄店 電話一五四番・一二三四番
京城本町二丁目七 高木鞄工場

○御機嫌麗はしく 玉盞を傾け給ふ

今日、豊明殿の御盛宴

皇族殿下を首め內外臣僚一千名を召させらる

東宮殿下御成年式は七日賢所大前に於いて厳かに行はせられたるが天皇陛下には今八日宮中に於て御宴を催させられたり是より先き伏見宮貞愛親王各皇族殿下には午前十一時四十分頃前後して御參內西一の間に御休憩あり

東宮殿下にも同刻御參內

便殿に御休憩あらせらる又露、佛、米の各大使以下英の代理大使其他各國公使並に松方內府、東郷大勳位、原首相各國務大臣、各元帥、國務大臣禮遇、清浦樞府副議長以下各顧問官、陸海軍大將其他親任官兩院議長以下公侯爵、勅任待遇に至るまで約一千名は大禮服正裝又は通常禮服にて續々參內西溜の間に參集の後、配役式部官の誘導にて豊明殿を始め千種の間、東溜の間の指定の位置に著席し準備整ふや　天皇陛下には

大元帥の正裝に大勳位

菊花章頸飾功一級金鵄勳章を御佩用、戸田式部長官の奏請を聽し召され各皇族、波多野宮相、正親町侍從長以下諸官を隨へ諸員最敬禮中に豊明殿に出御あらせられ續いて皇后陛下にはローブ、モンターンの御洋裝にて大森皇后宮大夫、千種典侍等の供奉にて又東宮殿下には陸軍大尉の御正裝にて濱尾大夫等供奉を申して參進あらせらる、かくて正面玉座に著御、御開宴仰出されたるが

御料理は純日本式にて

殿內の裝飾も総て優雅にして御開宴中は式部職雅樂部職員は絶ず『萬歳樂』『延喜樂』を演奏して御盛興を添へ奉り　聖上陛下には親しく諸員と共に玉盞を傾けさせられ午後零時四十分諸員最敬禮中に皇后宮、東宮殿下と御共に各皇族並に供奉員を隨へ入御あらせられたり（東京特電）

○各地の奉祝

▲奉天　前日晴雨常なかりし天候に引替へ七日東宮御成年式當日は空霽れて朗らかに此上なき好天氣にて市內隈なく揭ぐる各戸國旗を掲揚して奉祝の意を表し總領事館にては午前十一時より同十二時まで拜賀式を擧行し引續き館內にて官民合同の大祝賀會を開催し皇室及び東宮殿下の萬歳を謹唱し奉りて午後一時過ぎ散會せり又各學校官署にても夫れ〳〵祝賀遙拜式を擧行せり（奉天特電）

▲大連　大連に於ける東宮御成年式祝賀會は正午より大和ホテルに開催し官民有志一千餘名參集し石本市長奉祝の辭を朗讀し立食の宴を開き中野民政署長の發聲にて東宮殿下の萬歳を三唱せり此日市中は各戸國旗を揭げ休業し祝意を表し民政署に於ては官吏並に有勳者の參賀を受けたり（大連特電）

▲大田　步兵第三大隊にては七日午前九時十分營庭に　天皇皇后兩陛下の御眞影を奉安し小田大隊長以下各將校兵卒整列拜賀式を擧行し後一同宮城に向つて遙拜式を擧行したるが同時に各學校に於ても奉祝式を擧行し市中は國旗を揭げて祝意を表したり（大田）

▲下關　皇太子殿下御成年式奉祝の爲め七日午前九時市會を開き賀表捧呈の件を議決し同十時より奉拜式を擧行せり市內は各戸國旗提燈を揭げ港內碇泊の各船舶は滿艦飾を施し市役所取引所各商店は休業せり（下關特電）

○龍山に圖書館

鐵道學校の附屬 一般に公開

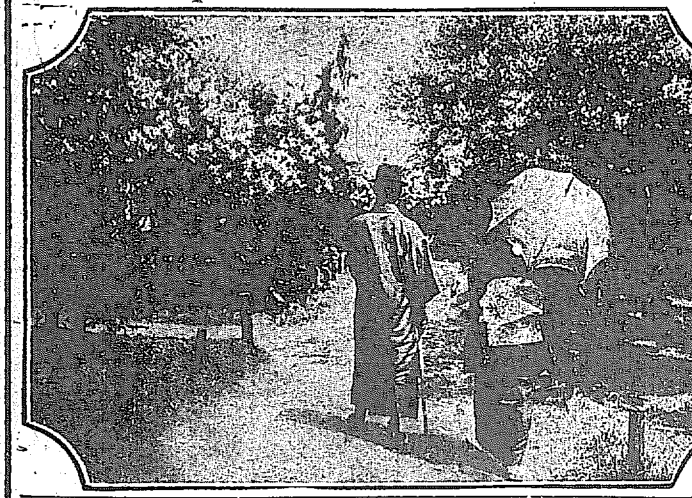
滿鐵が龍山に圖書館を新設すると云ふ噂がある、久保京管局長は『圖書館と稱すべき程のものではないが新築される鐵道學校の圖書室を一般に公開しようと云ふ計畫なのです、學校の圖書室ですから圖書館としては殆んど價値のないものでせうが然し圖書館の設備が缺い京龍としては必要だと思つて居る內容は學術的や專門的のものは到底設備が出來ないが取敢へず通俗圖書約五六千冊を收容し得る閲覽室を設計しました、始めは學校生徒と滿鐵社員の爲めに計畫したのですが一般にも公開の必要を思つて公開する意志です何しろ鐵道學校建設費五十萬圓で學校も造り圖書室も作り講堂をも造る考へですから到底立派なものは出來ません尚新設される講堂も公會堂として公開するの方針で設計しましたから竣成後は講演會場や集會として鐵道學校に差支ない範圍で出來得るだけは公開して一般市民の便宜を圖る筈です』と語つた鐵道學校は龍山公園東方に建築さるゝもので既に着手されてゐるが竣成は年內一ぱいの豫定である。

◇長春便◇

沙票官帖の暴落

…頭氣配に流れつつある奇現象を示し何等か根本的政策確定せざれ…林官帖を以て通用させられ…地方に於る私帖の通用も依然として何…

…地方（…七名）小川延吉、同みさを、同一郎、同幸、野谷茂、寺內錦司、山根兵之助、志岐まさよ、北村りゆ、大石重吉、白井札、同龍…同臣子、林鐵運、同秀枝、岡田三郎、長尾…德三、田代英三、田代てる、田中元次郎、本庄鋼之助、山中康郎、同さよ、松本貫證…加藤とよ、林光太郎、加藤一夫、山內惠子、同米乃、近藤安吉、同もと、小賀好、一村…つね子、池田佐一、根本きく、同秀子、同…思よさゑ、上島熊次郎、岡田隆七、梅原直…三、齋岡勇賜、村尾しん子、同みち子、同…本撤…、廣瀨銀一郎、同秀子、同濱子、…（三十一名）久木元喜太郎、同きく、谷…久、岩崎博、同よし、福原耕一、…原喜平、…杉野榮八、小田村周明、木寺源次郎、高…（…六十名）小川勝吾、鈴…侍、岡之信三、中江衛二、久保衛二、久保…田邊要、同ます…



ライラックの花（パゴダ公園）

○光瑞師消息

九日南洋へ

大谷光瑞師は七日午前九時三十八分著列車にて再び來關山陽ホテルに入りたるが九日門司發汽船にてセレベスに向ふ可しと（下關電報）

○機關車で怪火研究

失敗に終る

滿鐵埠頭の怪火原因に就ては種々の臆說を生じ居れるが其中汽罐車の火粉說は最も有理なるが如く思惟せらるゝより、滿鐵に於ては三日午後東野積中部第十三區の三番四番線に於て川上郎事、村井埠頭所長、其他關係主任者及中野署長、田中外觀外警官數名立會の上是れが實驗を遂たり埠頭消防は萬一を慮かりタンクポンプを用意し置き四方の通交を遮斷し人馬の往來を禁じ準備全くなるや午後三時三十分汽罐車は盛んに火煙を吐きて右の箇所を前後五回に亘りて往復したるが地上には可燃物たる綿又は石油を注けるアンペラ麻袋紙屑等を散布し置約二百間の間には各十尺毎に點火物を配置し此の日相當風力ありて煤煙、石炭殼等を盛んに遠方迄吹き飛し中には七八十尺の距離に至りしものもあり、又指頭大の石炭殼所々に落晒綿の上に落しものも尠からざりしが毫も點火の模樣なく汽罐車火粉說に對する實驗は何等要領を得るなく午後五時終了せり（大連）

○淨土宗が 二派に分れた

市內開教院は無關係

此程淨土宗西山派が三派に分れた同派は今迄も禪林、光明、誓願、圓福寺の四總本山があつたが今度は文部省が認可して公然禪林寺光明寺深草寺の三宗派に分れ誓願圓福の二本山は合併したのであるさで佛教五十六宗派が五十八宗派に殖へ譯であるが本町の淨土宗開教院で聞くと分かれたのは西山派內の分派で開教院は智恩院を總本山とする淨土宗であるから何等關係はないさうである。

○下層民悔ゆ

忠南燕岐郡地方下層民は四月十日には朝鮮は愈々獨立し全道韓國々旗を揭揚し祝意を表すべしと聽き窃に其の日を期待せしに今以て其の事實なきより覺れば獨立は不可能なるべしと稱し妄動の非なるを悟れる模樣なり

○蛇娘現る

十六歳の支那人 脊から腹腿へかけて一面の鱗

去二日蒙古地方より長春へ歸來したる邦人某は洮南府附近の片田舍より珍らしい支那少女を連れ歸りしが顏は十人並にて手先など異狀なく一見普通少女と相違なきも（母親は蛇に魅られた）脊部より腰、腿の腹部背部に掛け一面に

▲蛇の表皮 と少しも變らず表面は艶々しき漆黑色にて不規則なる鱗皮に似たる區劃部は白くして十八史略の卷頭に有る伏羲氏の蛇身人首は斯やと思ふばかりなり父は陳泳廷と云ひて農を營み居たるに先妻は附近に住む一黒蛇に魅られし爲に死したるが是より先既に懷胎し居て產み落せしは此の奇兒なりと支那人一流の

▲因果物語 を吹聽し居れり某醫師の談に依れば是は矢張り一種の皮膚病なりとの事なるが如何にも珍らしき者なるより邦人某は四日より西公園に於て觀せ物に出す事としたり本人は本年十六歳と云へど一見十三歳位に見られ發育充分ならず件の奇怪なる皮膚は腹部腰部最も著しく夫れより上下部に至るに從ひて次第に

▲鱗狀形小 さくなりて遂には普通の皮膚と差違なきに至る狀、如何にも黒蛇の脊部より腹部に至つて漸次鱗狀が小に成り行くと髣髴せるものあり醫學上には別に奇とするに足らざるべきかなれども常人の眼には如何にも奇怪なる蛇娘として評判高し（長春）

○空前の大停電

全市暗黒世界と化す

原因は電柱に落雷した爲

七日夜の大雷雨は猛烈な勢ひで京城を襲つた午後八時十分頃から大雨沛然として降り出し物凄い電光雷鳴の中で市內の電燈が一時に消えたので全市は忽ち

▽暗黒世界 と化した尤も始めの中は明暗交々して居たが十時頃からは全く消ねて終夜午前二時半頃まで四時間半の長い間點火しなかつた爲一般に非常なる迷惑を感じ中には多大の打撃を蒙つた處も尠くなかつたが是について京城電氣の島田支配人は語る『昨夜の大雷雨の爲め電燈電力に

▽故障を來 たした事は當事者として誠に相濟まぬ然し停電の理由は御承知の通り空中電氣が電線に感じた爲である始めの中は電燈が明滅する位のものであつたが午後九時半分に至つて舊龍山元町三丁目八鐵園下の幹線五十六號電柱に落雷し火災を起して燒失したので之が修繕をする爲め止むを得ず午後十時から全部送電を停止したそして極力破損箇所の修繕に努め一方送電の接續を變更して麻浦から鐘路

▽變壓所へ 通ずる麻浦線を使用して岡崎町以北へは午前二時半漸く送電する事が出來た其後午前六時には全部の修理を終つて京龍全線に異常なく送電するに至つて極力修理に努めさせたが私は十時前から會社に來て居たが此の停電は京城電氣創立以來全く始めてである』

▽豫防法 今の處無い

岡本遞信技師の談　七日夜の京城電氣の明滅に就き問ひしに本遞信技師は語る『未だ會社側の報告書を手にしないから斷言する譯には往かないが昨夜位の雷雨になると雷が電線に感電して變壓器や安全器に故障を起すから自然に防する方法が無い會社の方で危險なる處で送電を斷つたので消れたか否やは未だ分らないが多分さうではあるまいと思ふ』

○飛んだ悲喜劇

停電の夜隨所に演ぜらる

七日夜の大雷雨は惡戯過ぎる程惡戯を擅にした。先づ八時過ぎから鳴物入で紫電を閃かせ物凄しい

示威運動 を試むること暫時、忽ち豪雨沛然として到ると云ふ有樣。と同時に舊龍山の電柱に落雷し、變電所の避雷裝置が毀れると云ふ騒ぎで京城全市は忽ち暗黒世界と變じた。昔燈よ蠟燭よと騒ぎ立て大抵の家は蠟燭で間に合せ心細い光りを凝視めて居る

雷鳴電光 に脅かされ小さくなつて居るとボカリと電燈が點く。ヤレ〳〵と蠟燭を吹き消すと同時に電燈が消ねる。また蠟燭をつける。電燈がつく。蠟燭を消す。點ける、消す。消す點けるとテナ根競べをやつて居ると次第に停電時間が長くなつて十時頃から夜明け前まで全然

送電中止 と來た。何しろ宵の口からの停電だから到る處で悲喜劇が演ぜられた。一番打撃を受けたのは劇場や活動寫眞で、之れから面白くなると云ふところで停電と來たので見物は大迷惑だ。壽座なんかは連鎖劇を終つて喜劇に移らうとして居るところへ暗闇となつたので蠟燭を點じて影人形のやうな劇が始まり誰が臺詞を言つて居るやら判らないと云ふ有樣殊に閉場た時の下足場の騒ぎと云つたら大變なものであつた

活動寫眞 も御同樣で最初の程は『只今一寸停電致しましたので暫く御辛抱を……』の言譯で濟んで居たが次第に停電時間が長くなるので暗がりの舞臺に白く浮いた顏ばかり眺めてゐるのも馬鹿々々しく各々大不平小不平を殘して十時頃までには大抵の客が歸つて了つた。さて電車に乘らうと思へば暗の中に獸のやうに蹲まつて電車は動かぬと云ふ始末。それでも電車だけは十一時頃から動き始めたが、御蔭で

新聞社は 編輯も植字も文選も機械部も何から何まで祟られて酷い目に逢つた。聞くところに依れば當夜某料亭で擧げた結婚式などは蠟燭の典が甚だ薄暗かつたとのこと

○強烈な雷

七日夜の雷雨につき京城測候所員は語る『昨日の雷雨は隨分猛烈であつた雨としては雨量計が一六粍を示してゐるから左程でもないが雷は餘程強烈なものであつたらしい未だ氣壓の關係等に就いて調査を終つてゐないが今日中には各地の報告もくるから分明する筈である去年の八月にも一度こんな雷雨があつた』

○騷擾死亡者を笑ふ

青陽郡の良民

忠南青陽地方に於ては騷擾の鎮靜に從ひ一般に其の參加を後悔するの風あり且つ開市の停止により生活の困難に堪へ兼ね市場里民は一同署名捺印の上開市の請願書を提出するもの續々あり追々市場の停止を解かるゝと共に人心安靜に向ひつゝあるが青陽郡地方に於ては騷擾に參加し死亡したる者の行爲を嘲笑して顧みるものなく妻子は衣食に窮せるの狀あり甚だしきは其の家族に對し債務の取立を迫る者あり悲慘を極めつゝありと云ふ

○市內にも天然痘發生

保險會社の勸誘員 旅行先で感染

市內永樂町二丁目橫濱生命保險會社勸誘員長谷川孝藏（三〇）は過日來水原、烏致院、清州地方の旅行を終へ四日夜歸宅するや俄に發熱し症狀普通ならざるより本町署より嘱託醫出張診察したるに疑ひもなく天然痘なる事判明し直ちに京城府順化院に收容すると共に交通遮斷をなし大清潔を施したるが病毒は旅行先に於て感染し居たるもの如く目下附近住民に對しては夫々豫防法を講じ居れり

▽種痘を受けよ 老幼を問はず

右につき本町署衛生係は語る『本年は各地に於て天然痘が餘程流行して居る模樣であるが八日終に市內にも一名の天然痘患者が現はれた目下大に豫防方法を講じて居るが一般に此際老幼を問はず進んで種痘を受けて置くがよからう尚受痘希望者は警察署の種痘所であれば便宜何處の種痘所でも種痘を許すと同時に檢疫口でも種痘に應ずる事とした尚近頃腸窒扶斯、發疹窒扶斯等も流行して居るから少しでも熱のあるものは速かに醫師の診察を乞ふが安全であらう』と因に十二、十三兩日は南大門內派出所に於て種痘施行九日は漢城病院跡、十四日は文樂座、十九日は南大門外集會所に於て各檢疫の害

○抱合ひ心中

看護長と藝妓

咸興料理業鈴川亭の抱へ酌婦芳枝は四日午後一時頃突然無斷家出し樓主は八方行方搜査中の所翌五日午前八時西湖津野上旅館裏の溫突にて咸興在勤看護長某と抱き合ひ銳利なる刃物を以て咽喉を突き心中し居れるを發見したり原因は判明せざるも借金のため世を悲觀せる結果なるものゝ如く死體は五日朝列車にて咸興に持ち運べりと

○更に新患者

兼浦の天然痘

兼二浦に於ける天然痘は其後益々蔓延し二日更に四名の新患者發生せり之にて現在患者十七名を算するに至れるが消毒完全ならざるため益々傳播する者の如し（兼二浦）

○賭博犯檢擧

四日午後一時頃龍山鐵道合宿第五宿舍に於いて滿鐵龍山工場の職工橫井榮吉外五名が車座になつて花札を弄し賭博の最中を龍山憲兵分隊に探知され現場で御用となり花札及び現金五十餘圓は押收され一同は科料十圓宛に處せられたり

○金光教大祭

府內本町二丁目金光教京城教會所は來る十日午後一時春季大祭に兼ね新築竣工報告祭を擧行するに付き信者並に官民の重なる人々六百餘名（外內地在住三百餘名）に對し案內狀を發したるが擧式の次第左の如し

▲祭典イ修祓、ロ祝詞、ハ獻饌、ニ獻納品奉獻、ホ祝詞、ヘ玉串、ト鎮守玉串▲式辭▲工事報告▲來賓外祝辭▲答辭▲宴會（餘興）

尚ほ擧式の間は終始吉備樂あり且つ先年來専門教師が養成しつゝありし樂子の吉備舞奉納ある由

○賑つた降誕會

七日は舊曆四月八日、釋尊降誕の日とて市內妙心寺、曹谿寺日蓮宗護國寺、高野山、淨土宗教會所の各寺院では花御堂を設へ法要を營み一般參詣者には甘茶やお菓子を接待した午後からは子供の參詣が非常に多く各寺院共甘茶貰ひの子供で一ぱいであつた從つて甘茶の貰方も去年よりはズツト多く一寺平均三石は貰れた相であるがお寺では甘茶が多く貰れる程參詣人が多いのだとホク〳〵喜んで居た

演藝案內

喜樂館 本町一丁目 電五九七番（有樂館改め）
日活會社特約……三大映畫提供……毎週上場
▲喜活劇『自稱勇士』全五卷
▲新派悲劇 大力角兵衛 全四卷
▲大活『モルソンの冒險』
▲新派悲劇『乳屋の娘』全六卷

黃金館 電話（晝間）二二六六（夜間）二六三七
五月六日より特別公開三日間限り
▲大活新派『隼』全五卷
▲天活新派『細川血達磨』全五卷
▲多情『花いばら』全五卷

壽座 京城本町 電話五七八
五月八日より『第二回替』午後六時開幕
▲時代劇『片男浪』二幕
▲新派『嫗山姥』壹幕
▲連鎖『夜嵐』十八場
▲喜劇『しゝみ賣』二幕

大正館 櫻井町 電話八七三
▲『爆彈時計』五千呎
▲『金谷五郎』全三卷
▲大悲劇『子煩惱』全七卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇
浪花家虎笙一座
四月廿六日夜より（十二日目）

自動車

本校卒業生の成績は校外生と雖も……
東京自動車學校
大阪自動車學校
福岡自動車講習所

職業 特約店募集

大阪天王寺大道一丁目三九一八 豊國商會

急告

大正館創立八週年記念の爲め平素御愛顧の御禮として本日より當分の間入場料左の通り大割引仕候
▲壹等 參拾錢（軍人學生半額）
▲貳等 貳拾錢（軍人學生半額）
▲參等 拾錢均一
大正館

糸卸

各種裁縫糸一式・レース糸・みすや針並附屬品
京城北米倉町 ビワコ屋糸店
…薄利多賣… 電話五〇五番・振替京六壹五番

產科 婦人科 二宮醫院

京城壽町 電話一一〇一番
醫學士 二宮晃吉

宮內省御用達

櫻正宗
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店
サクラ正宗

內科 小兒科 村上病院

京城永樂町一丁目（商品陳列館前）
電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏

お待兼の時計が着きました

十八金製ウオルサム
十四金製エルジン
特別安價提供
お求めはお早く願ひます
お早くないと賣り切れます
京城本町二丁目 村木時計店

眼科專門 金井眼科醫院

京城若草町（新道路中程）
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中

京城 晴一時曇

…の困…人が苦情なし居る…一方ならず一般財界は展轉の如く間には感ぜざる狀態にありて此頃混亂狀態に陷り官民協力して引上向は都市を距るに隨ひて漸次甚だ策に腐心せるも實情却つて全體にしく蒙古地方（洮南府方面迄）は昔…

京城神社奉祝祭　七日擧行

滿洲遠邇（十九）　一貫生

第一版

刀折れ矢盡く

旅順の危機は愈々迫つて來た、十二月三十日午前七時頃より、日本軍の砲擊は益々增大し、九時頃村上縱隊は大擧突擊して來た、而して見る／＼東北角面堡に日章旗をさし翻した、遂に雙眼鏡で見て居た、イルマン少將は直ちに二中隊を增援しトレチヤコーフ少將は這は一大事と後備隊を提げて逆襲して主なる陣地を恢復した、正午頃になつて再び日本軍が突擊して來たけれど、小銃は日本軍の砲擊の爲に砂塵に覆はれて使用する事が出來なかつたから皆銃劍や爆藥を使用して奮鬪し、午後一時頃漸くこれを擊退した、此の日兩軍の白兵戰は四時間に亘りて露軍は爆藥七千個以上を使用したのであつた、此の戰鬪將に酣なる時一發の二十八珊彈は集團せる露軍の傍で爆發して多數の即死者を出し、トレチヤコーフ少將は跳飛ばされたが打撲傷のみで幸ひに一命は免れたのであつた、スタンネウスキー大尉は重傷を負ひ病院に收容せられ、最初から陣地の狀態に通曉する唯一の指揮官を失つたので士氣甚だしく沮喪した、而し乍ら戰鬪は依然として繼續せられた日本の香月隊は遂に二無二突入して中央堡部を占領したが、遂に擊退され、翌一日は日本軍の突擊が緩慢となつたので負傷したトレチヤコーフ少將は本部に退いて休養し、オルガノーフ中佐代つて司令官となつた、此の時日本軍の方も疲竭と、體力休養との爲、一時攻擊を中止した翌二日トレチヤコーフ少將は保壘の修築上再び歸來して指揮を取り三日夜暗に破壞の箇所を補修した、三日午前六時半トレチヤコーフ少將はベスロアスキー大尉と觀測の爲陣地に行くと、偶々飛來した一發の砲彈は大尉の頭腦を碎ひ去り、花崗石に衝突して爆烈し多數の死傷者を出したけれど少將は幸ひに無事であつた、少將は補缺出防禦に就ては神の樣に尊ばれた、彼は日本軍の激烈なる射擊を擊退する事前後實に十回に及んだからである、五日から又々日本軍の砲擊は猛烈となつて遂に全高地は包圍せられて仕舞つた、午前十時から十一時に亘る間に日本軍は續々突擊を敢行して西南角面堡を占領し、露軍の將校は悉く死傷して、イバーテン大尉一人となつたが、之れも亦負傷した、午後五時前には日本軍が鷄冠山頂上に展開したので、本部との通信は不可能となつた、午後七時には最後の逆襲を決行すべき豫定であつたけれど最早全軍八百にも足らぬのみならず砲彈缺乏の結果中止するの止むを得ぬ事となつた、七時半イルマン少將、オルガノフ中佐外三將校の指揮に依る三縱隊は猛火を冒し、勇敢に逆襲し、死傷者を以て埋められた鷄冠山の麓を繼續したが、其先頭は漸く頂上に達し白兵戰を交へたけれど死傷續出、指揮官を失つて大苦戰に陷つた、イルマン少將は本部から陣地に歸還途中、護衞騎兵は戰死し、衛兵長も負傷し少將のみは漸く無事であつた、戰鬪は其後益々悲境に陷り遂に退却の止むなきに至り、六日午前二時迄に前進陣地の兵は大約退却して仕舞つて、鷄冠山に殘留せる中隊も黎明を期して總て退却し、明治三十七年十二月六日午前八時に、日本軍は正に鷄冠山全部を安全に占領して仕舞つた、而して日本軍は其の頂上に觀測所を設け八日迄に港內の露國全艦隊を擊沈して仕舞つたのであるが、露軍も亦刀折れ矢盡くる迄も奮鬪して居る、歷史家は露軍の此勇敢を賞つてやらねばならぬ

◎大連便　善後策に腐心す

大連埠頭野積大豆の保險契約解除の結果遂に、無保險特產物に對する大連銀行團の貸出停止斷行を見るに依る第一聲は特產商等に加へ次いで滿洲經濟界に一大恐慌を與へたり別して特產商等の苦難は、焦眉の急に迫れるに依り如何にしてか、此の難境を切拔けんものをと連日に亘りて百方之れが善後策に苦慮焦心の末事態斯くなる以上は滿鐵自身に於て該保險引受を承諾せし爲め當面の活路を得んとし、目下之れが目的貫徹に全力を傾注して運動に努め居れる模樣なり又一方銀行業者は、事情斯くなる上は無保險特產物に對する貸出停止の旨趣を徹底的ならしめ、金融業者としての自己の立場を保持せんと欲し滿鐵沿線各地に於る取引銀行の支店、出張所等をして一齊に保險特產物に對する貸出停止を行はしむる手筈を爲せりと傳へらるが銀行業者の立場としては、之れ亦事情止むを得ざる方途にして彼銀行業者も唯一の顧客たる特產商に對する貸し出を、自ら拒否せざるべからざる場合に逢著せしは一大苦境に立てりと云ふべきなり而して特產商、滿鐵、銀行業者等は如何にしてか此の難關を打開し活路を見出さんと欲し、連日に亘り、衆頭を集めて有らゆる智囊を傾倒して好案案出に腐心し居れり又他面においては特產商等は焦眉の活路を得んと焦るの餘、自然錢市場に走るもの〻如く四月廿八日の銀價は一躍三圓方品騰し逼迫の消息を語り、二十九日後場引値は百六十五圓八十錢にて稍軟弱を示せるも、特產商等が窮餘の策として同市場を利用するが如きに至らば銀價の前途又豫斷すべからざるものあらんと

◎引上げ決行？

滿鐵電氣料、汽車賃

滿鐵にては電氣料、汽車賃（貨客共）を値上げすべく幹部に於ては決定せる模樣なるが其の値上率及び實施期は不明なるも前者は約二割內外にして實行期は五月中旬若くは六月一日よりなるべく後者は二割乃至三割とし實施期は全く不明なれど何れ遠からざるべき見込みなりと（奉天）

◎仁川では　取引所休業の祟が各方面に及ぼしてゐる…第一には　慘めな花柳界

殆んど三箇月に亘る仁川取引所の休場は各方面に非常の影響を及ぼしたのは云ふ迄もなく殊にそれが最も慘憺たる飛沫を受けたのは仁川の花柳界である、各料亭は何れも意元悄く頭痛鉢卷の態と云ふ處であつたが漸く先が見え出して來たもう遲くも六月朔日の新甫からは立會が初まるに極つたりと見當が附いたのでホット一と息久しい間

◇不景氣に閉された仁川も何だか急に血の氣が殖えたかの勢でソロ／＼料亭も活氣付いて來た何と云つても取引所サマで先づ四月中に於ける五十餘名の藝妓の花代總額を調べるとザット四千圓一箇月

◇一人僅か五十圓見當に過ぎないと來ては聊か悲觀せざるを得ない試みに之を前月に較べると三月も取引所は中旬頃から休むでゐる、それにしても五千圓は揚げて居る花の四月の書き入れ時に浮かれなければならぬといふ春の日を此の不景氣は何事ぞと云へば尤も一つは騷擾の影響も多少有りもしようが仁川として此の影響はほんの僅で

◇全く取引所の休業に原因すると極めて宜しい更に之れを二月の揚り高に八千圓に達したのから見ると衰れむべし實に其の半分にしか達してゐない箱丁が樂で藝妓の必要もない位夜よく寢る樣では料亭も中々金儲が出來ぬ（仁川）

漁季

鴨綠江　各縣よりの出漁船江口に集り來る

鴨綠江口龍岩浦沖の漁業は去月二十二日香川縣の漁船數隻入港せしに初まり各縣の漁船蝟集するもの多く手繰網、鮟鱇網、打瀨網等約五十餘隻に達し相當の漁獲あり水揚魚類の價格も比較的高價なるより本年の盛漁期には壯觀を呈すべし（新義州）

◎連絡船上陸客

六日午前入港新羅丸一二等客　大和正夫、二等百十一名　朝鮮、同興三、中島俊男、同つた、同亦子、上…[illegible]

▲六日午後入港博愛丸一二等客　一等（四名）…[illegible]

七日午前入港對馬丸一二等客　…[illegible]

◎冷藏車運轉（奉天）

滿鐵にては奉天長春等の希望により夏期中魚菜類の運送に資する爲め本月十五日より大連長春間を毎日一回冷藏車を運轉する事となれり

◎穀物在庫數（仁川）

四月三十日現在仁川穀物在庫數量は玄米四斗入二十一萬百七十六叺、五斗入四萬四千六百十八叺、白米四斗入九千七百三十九叺、大豆四斗入四萬七千八百九十七叺、五斗入九千四十九叺、小豆三百九叺、小麥四斗入二萬一千七百八十七叺、五斗入七百二十二叺、大麥二十九叺、俵入三百三十三俵、粟豆二百十三叺、俵入二百六十二俵、籾九千五百九十七俵、粉米一千四百七十七叺、粟三千五十六叺、叺入三千五百七十五叺、粃米八百四十七叺なり

日本名刀傳（卅九）　東京　田邊南龍講演

伊勢太郎正俊（三三）

正『國廣の女房さんでしたか、些とも知らなかつたので、今迄お禮もしなかつたのは、誠に相濟みません、お前さん方は私を恨みなさるだらうが、どうぞ免して貰ひたい、國廣は私の身代りになつて果てたのだ、是れには種々譯があつて私を惡みそねむものが、私を殺さうとして間違へて國廣を殺してしまつた、氣の毒なのは國廣だ、江州水口の手前市場村の布引屋と云ふ宿屋で起つたことなのだが、どうも殺されてしまつたのだから仕方がない、布引屋の菩提所へ葬つて手篤い回向をして貰ひ、髮の毛と遺物とを持つて歸つて來ました』女房さんがあるとは今が今迄知らなかつたが、是れから先は及ばずながら相談相手にもなりませう、入用の品があつたなら遠慮無く言うて下さい、乾度敵は私が討つてあげるから、どうかまア私の屆かなかつたことは免して貰ひたい』涙に聲をうるませて悄然として申しまするを　女『飛んでもない、何で貴方を恨みませう、貴方に成り代つて殺されたのは國廣も本望でございませう、若し本統に貴方が殺されたらそれこそ大變でございます、優しい種々と御親切のお言葉難有う存じます、就ては夫を殺しましたものは大方分つて居りませうか　正『分つて居ます、併しうつかりしたことは言はれないから、其者の名は暫く聽かないで居てお吳れ、私のお師匠樣と秋廣殿の外には決して言はぬことにしてあるのだから……乾度敵は討つて國廣さんの無念を晴らしてやる、壁に耳ある世の中だから、よもや他言はしまいだらうが、口惜しい口惜しいでうつかり喋舌らうものなら、相手は決して此の儘へ歸つて來ないから、どうか此事は聽かずに置いてお吳れ　女『御尤でございますが、如何なることがありましても決して他言はいたしません、お誓ひ申しますから、どうぞ、御話なすつてくださいまし、お願ひでございます、何樣事があつても心中に藏めて口には出しませんから、お聽かせなすつて下さいまし』と四方に意を注けて席を進め、眞實面に現はして賴みまする不憫さに　正『夫れぢや言ひませう、おさよさん、夢にも口へ出して下さるな、大進坊佐慶の甥長義の奴がお前の夫國廣を殺したのだ、國廣さんが臨終の時に敵は三郎長義と立派に言つた、また落して往つた刀に長義の銘が打つてあるのが何よりの證據、無反りの長い大業物、おさよさん、私は鎌倉へ歸るなり大進坊の家を探らせたら、三郎長義は刀鍛冶修業の爲め廻國して居るさうだ、ナーニ、人殺しと云ふ大罪を犯したものが、さう何時迄も安穩で居られるものぢやない、天道樣は善人をお照しになる、乾度敵は討つてあげるよ』女は手拭ひで涙を押へ　女『ハイ能く分りました、どうか先生、國廣の浮べるやうにしてやつて下さいまし、それに若しお差支がございませんければ、國廣の髮の毛を戴いて參りたいものでございます、

正『ア、宜いとも／＼、お前さんの言ふ迄もない、今渡して上げようと思つて居た所だ、髮の毛許りでは無い、衣類、道中差、紙入、其他種々の遺物があるから、皆な渡して上げませう、位牌も拵へ戒名も彫付けてある』夫等を皆な渡しませう　女『どうも種々とお手數をかけまして恐れ入ります』正俊次の間へ往つて　正『俊道や、國廣の女房が來なすつた、ちよつと挨拶をしなさい、そして國廣の髮の毛と遺品を是れへ持つて來な』仕事も終つて休息してゐた俊道もそれへ來て　俊『是れはお初にお目にかかります、私は俊道と申して矢張國廣さんと一所に先生のおさもをして京へ上つたものでございます　女『左樣でございますか、種々國廣がお世話樣になりまして……』俊『飛んだことでお氣の毒でした、國廣さんに女房さんのあつたことは全く知りませんでしたが、子供迄出來たのに、何とも申さう樣がありません、併し國廣さんが身代りになつた許りで、先生の大望も仕遂げられたので定めし國廣さんも草葉の陰で喜んで居るでせう』

◎晩雪と被害（大邱）

北慶尙道青松郡和睦面其他の高地帶にては本月二日午後一時頃より氣溫降下すると共に降雨あり午後八時頃より雪に變じ翌三日午前七八分に及び多少農作物に被害ありしが、慶尙北道英陽郡地方に於ても同日午前三時頃より降雪あり平地に於ては直ちに消えたるも四圍の高山は積雪四五分に及び目下發芽中の桑葉其他に多少影響あるべしと

◎大田　▲諭示

佐々木大田郡守は去る三日郡內山內面に出張し同面事務所に面長有志を招集し今回の騷擾に對し諭示する處ありたるが何れも充分なる諒解を經て歸途したりと▲振興會　大田郡守は本月四日管內山內面に出張し振興會組織に就て面長及び區長と協議したり▲新婚披露宴　去る二日京城にて荻野菓氏の二女と結婚の式を擧行したる湖南日報社長川島勝氏は六日午後三時より大田官民有志其他知己二百名を本町中尾庭園に招待し之が披露の宴を張りたり

五月十日

（舊）四月十一日　上弦…[illegible]

▼二黑△兎角不審のことのある日也
▼三碧△平和主義をとれば可なり
▼四綠△あと先きの揃はぬ日なり
▼五黃△嬉しきことを聞く日にて殊に共同事業には有利なる日なり
▼六白△思ひ掛けざることにて意外な所より助力を得ることも知れず
▼七赤△好き事もあれど注意せざれば取り返しのつかざる事起らん
▼八白△すら／＼と拍子の合ふ日なれど酒食の交際はぞこにすべし
▼九紫△思ひ設けざる奇功を擧ぐる日但し輕はづみを嚴に愼むべし

商況

東京現株中值

◎六日中値

銘柄	値
東洋拓殖	八〇、〇〇
同新株	……
朝鮮銀行	一七六、五〇
同新株	……
南滿鐵道	一五五、〇〇
第一新株	一二〇、〇〇
第二新株	八一、五〇
京城電氣	五四、五〇
同新株	一九、五〇
南滿製糖	一二五、〇〇
朝鮮瓦斯	一八、五〇
大阪商船	一五六、〇〇
同新株	一〇八、〇〇
日本郵船	二一六、五〇
同新株	一〇五、五〇
鐘淵紡績	三二八、五〇
同新株	三〇四、五〇
東京株式	二四二、〇〇
同新株	二二八、〇〇
朝鮮興業	……
寶田石油	……
同二新株	一〇八、〇〇
橫濱取引	五〇、五〇

東京期米時電

	八日前場
當限寄付	……
中限寄付	……
先限寄付	三一、七九
高値	……
安値	……
止め	……

大阪株式特電

◎日後場引値　八日前場寄付

銘柄	引値	寄付
洋紡績	……	三二、五〇
同新株	……	……
鐘淵紡績	……	……
同新株	……	……
東洋製糖	……	……
大阪商船	……	二七〇、四〇
同新株	……	……
日本郵船	……	二三二、五〇
同新株	……	……
堂島米穀	……	二六七、四〇
同新株	……	……
東京株式	……	一六八、四〇
同新株	……	……
大阪株式	……	二四三、五〇
同新株	……	二三一、五〇

大阪三品特電

◎八日前場　綿布三綿

限月	値
五月限	十一圓七十錢
六月限	……
七月限	四一五、〇〇
八月限	……
九月限	……
十月限	三五二、〇〇

大阪期米特電

◎六日後場　◎八日前場

	六日後場	八日前場
當限寄付	三十三圓四十一錢	……
中限寄付	三十二圓八十五錢	……
先限寄付	……	三三、〇一
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

神戶期米特電

	日後場	八日前場
寄付	……	三三、四〇
高値	……	……
安値	……	……
止め	……	……

下關米特電

◎六日後場

寄付	一
高値	……
安値	……
止め	……

京城現株標準值

	前場	中引	後場
寄付	三三、四〇	三三、五五	三三、五三
高値	三三、四〇	三三、五五	三三、四〇
安値	三三、二一	三三、四〇	三三、三七
止め	三三、三三	三三、四〇	三三、三七
◎六日前場寄付	三三、三一	三三、一五	三三、三〇
高値	三三、三一	三三、三〇	三三、四〇
安値	三三、一九	三三、〇八	三三、三〇
止め	三三、二七	三三、二〇	三三、三〇

雜報

銘柄	拂込	現相
仁川取引	三五、〇〇	一一、五〇
同新株	一六、〇〇	七、〇〇
朝鮮商興	三五、〇〇	一七、〇〇
朝鮮皮革	二五、〇〇	三一、〇〇
東洋畜産	三五、〇〇	一三、五〇
朝鮮紡織	三七、五〇	一五、五〇
朝鮮殖産銀行	五〇、〇〇	三九、五〇
朝鮮郵船	五〇、〇〇	三五、五〇
朝鮮製紙	三七、五〇	二五、〇〇
西鮮土地	一二、五〇	一二、五〇
朝鮮製粉	一三、五〇	一〇、〇〇

◎綿布底堅し

勃發當時取引の中絕と人氣の沈靜によりて急轉惡化せし鮮內綿布市況も其後各地の人心恢復に伴ひ漸次取引の回復を告げ來り、機先內地綿糸布は連日上足を移して鮮內地方筋の買氣を誘起せしめ相場下落の尤も甚しかりし粗布三エーは由來安値より

四十圓方の反撥

を演じ其他の各品又一齊に强硬と變じ既先益々好望を以て迎へられつゝありしが北京騷擾の報に俄然蹉跌手控へとなりて市況

一頓挫を來し

此の如く人氣不良の傾きを呈せり併しながら地方筋一般持品手薄の折柄一時不味なりしも

廳市況の立直り

て相當需要を喚起しつゝある等必需口の注文少なからざれば

四月物の入品は極めて順調に消化

せらるゝのみならず內地製綿の如き三井筋等にあつては市價の維持策として現品の調節に努め居れる旁昨今現物の停滯せるもの甚だ少なし殊に支那騷擾も殆ど北京の一角に止まり同國商業の中心地たる上海漢口方面靜穩なるを以つて綿糸布に及ぼす

之が影響に付ては案ずるに足らず

外觀市況は軟味のせられつゝある等現物は如上の理由にて其期相場も弛まず依然三エーは小賣三百九十圓仲間三百八十四圓を維持し

晒金巾の如きは一時の反動にて却つて底堅き成行きを示せり只先物として

五月受渡し約千五百俵前後の入荷

あり城釜山に於て如何に消化さるべきかに懸念あるも假令多少の現在の先約品は六月中の入品なるを以つて一段落を告げ其以降の契約行はれざる限り强ち悲觀を要せざるべしと

◎白米手堅し

一昨六日大阪神著の十二日は一五十錢にて若干の商談調ひたる外其後一寸注文途切れの姿なるが此の趣きは商談不能といふ形勢を認め難く多少

割安ならば續き買來る

今後地場買行き乏しきも當業者も不良なる上原料相變らず强硬なるより精米所中移出の既約注文又は軍隊納入米等に據りつゝある所謂市中卸値は四十圓方手堅く持合ひ居れり

◎夏服地昂騰

本年の夏服地は昨年に比し高騰一割五分高となり居れるまゝ綿物は同じく今日の綿絲の高値に相當すれば二三割方の高値は免れざるべし

仕入期の綿糸

相場の標準

小倉地は約二割

方の騰貴は免れざるべく下りの相場を示せば目下相場は一圓三十錢より一圓七十錢より一圓七八十錢英國物六七十錢より上物一圓二三十錢より一圓三四十錢ガツタ地九十錢より一圓二十錢見當なり

◎粟上物拂底

粟は新規入荷絕へずと雖も品薄にして上品は昨今殆んど其の跡を絕ちたる模樣なるもの、如く從つて品不足勝ちに

上物は二二十錢方の高氣配

を示し京城上物は十四圓三十錢見當なり

…[illegible]…電話…六二〇六…

◎旅行鞄二割高

旅行鞄は例年春秋の二期最も賣行旺盛なるが今春は昨秋に比較して一般に約二割高を唱へ居るが原上材料として矢張り諸物價高騰の影響に由るものなりと云ふが當地にて製造する本品の皮革材料は內地に仰ぎ居る有樣にて朝鮮產の皮革類中近來此種の器具に使用さるゝものゝ漸次製造さるゝに至りしも未だ內地品に比し遜色あり今後品質の改良に連れ鮮內需要も增加され價格の低廉を期待し得べし

◎株現市場出願近し

現株市場設置に就ては屢報道したる如くなるが其後着々進捗して四五日前既に發起人の名義も決定したる由なれば茲一兩日中には愈々出願の運びに至るべしと云ふ

◎染料反動强含

一時先行き懸念に投げ物現はれたる染料も最近に至り殆ど浮動的持品の一掃を見たる米國の不引合ひに輸入手控等にて阪地京城ではブラックオンドに不足

減切高唱

ラミン結晶背竹等…在持合を持續せる當市況に反撥を促がさん傾向ありて此の三割方の下落を示して本年一月の初荷以來二割乃至質の向上して來れる加工六十目の此機先值段の異動又は品質の低下を促かすや測り難し

下關相場

◎正米は不況　引續き天氣好晴にして至極平穩なる迴米は依然多からず正午迄に入着したるは防長米百四十五俵肥後人吉米百二十五俵同突防米二百五十俵等合計五百二十俵なり俗市況は前記の如く依然出廻り多からずと雖も前朝の如き事情の下に迫々出廻り來るならんとの觀測へ且上方正米も弱氣不勢の情報にあると共に只管買人の手控へ居る爲め更に見るべき商內行はれず

又益々不況閑散を極め居れり而して明日後に於ける當用口への成行きは前項の通りにて今後の成行きは如何は不明なるも過日來相當の高値に進みたるより最早値頃にわれれば眼先き期米にして多少引返しか見るに至るべし

◎朝鮮米も不味　其後白米六百叺の輸入に過ぎざると雖も持品一寸仲力堅東なき風情にあり此較上なく投げ出す産地との情に、あり何分期米の形勢面白からぬに連れ自然買氣進まず市況面白からず之れが爲め矢張り期米の…[illegible]

◎小豆は狂はず　本品は依然として相人氣現はれず、其後備中白小豆四十俵の入荷も別段安からざるのみならず產地の手持筋の資力急がざるに依り格別人氣に狂はず北海產の五等品直段許りに十二圓六十錢に手合行はれたり

◎大豆は不引立　其後安州物五百叺等の入荷に過ぎざるのみなる爲め產地の如き左程安からず所に依りては幾分高勢を呈し居ると同時に自然手持筋の氣張るも之れ有れど殘念ながら上海の軟さ傳へを以つて前日に比し何分米価の形勢面白からず然るに居る爲め人氣進まず實行はれず

◎肥料の現況　魚肥は前報大羽鰯頭大（漁）…[illegible]…

◎同　常用　◎同　當地白米　◎朝鮮一等米　◎同　小豆花…[illegible]

品目	値
◎同	四十二圓三十錢
◎朝鮮一等米	四十二圓四十錢
◎同 當用	四十一圓七十錢
◎同 當地白米	四十一圓二十錢
◎同 小豆花	廿二圓四十錢
◎同 常用	二十圓ヵ十錢
◎同	二十圓六十錢

各地米況

◎木浦（六日）

▲玄米（三四十錢安か）昨日の大阪を期米暴落地より引合杜絕く唯鮮人思惑筋の買碎あれど付値意外に安く無らん當の値取引に至らず先づ昨日より三四十錢安ならんかとの說あり

▲籾（二十錢安）本日の籾廻着約二百俵あり十圓五十錢より二十錢と昨日よりも二十錢安依然閑散の一買なり

品目	値
◎長湍大豆	十八圓五十五錢
◎同	十八圓六十錢
◎同汗浦大豆	十八圓五十錢
◎水原大豆	十八圓四十錢
◎深川大豆	十八圓六十錢
◎元山大豆	十八圓八十錢
◎同	十八圓九十錢
◎同大玉	二十圓五十錢
◎圓粕中次品	九圓八十錢
◎同	十圓
◎朝鮮諸粕小口	七圓
◎豆粕現物	二圓六十錢
◎蒸製骨粉	四圓二十五錢
◎同	四圓三十錢
◎朝鮮は旗鶴中羽	十二
◎同薄赤口上	十九
◎同	二十
◎同種品	十五 六圓

期米賣買之御用は御遠慮なく
仁川米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川海岸町三丁目六五番
電話長（一七〇）一六〇

京城正米市場

內地期正米の安模樣に人氣軟弱なりと雖も各地に比し割合の當市場丈け

賣人却々頑强

にて持合ひ安値には市價は調はず秋出回引受け筋など原料の必要に應じ僅ながら買人の主張に薬かれて留取るとふ有樣にて

難地氣安に添ひ

相場は兎角風情なり昨日の出來は地場玄米千四百八十九叺二十錢安値三十二圓六十錢其他遊陽粟四十九袋は十三圓三十錢にて出來せり

南大門廻米

南浦小麥三三叺　瑞興小豆二六　平壤籾一五〇叺　黃州黍二九叺　新義州白二七叺　鎭川大豆三一　仁川粟九二一袋　龍山大麥三〇　平壤白米四〇叺　西井里白二七　平壤玄米九三叺　平壤糯五五叺　平壤小豆二〇叺　小井里白二五　平壤裸麥七五叺　郭山糯三三叺　仁川粟三六五袋　路下糯三三叺

釜山正米

▲八日　大阪期米持合ひに反し今朝の當京城は見越買人氣にて一二十錢高を告げ三等三師力十六圓四十錢にて七千石出來せり
▲大豆は活氣を呈すれども商內なし氣配は京釜線十五圓〇五錢處なり

生魚市場

前年八十八夜即ち五月三日前後は群山中島竹方面の延縄漁盛んにして例の如き生洲の儘入荷する者多く從つて市中にも潑剌たるものゝ供給に得られたるが本年は大潮の爲め延縄使用不能にて漁獲少なく昨今著しく拂底の狀態にて非常の高値を唱へ居れるが茲一週間後には漸次高潮し緩和すべきを以て彼々漁獲も增すならん八日京城魚市場卸平均値左の如し

たい九〇、小たい五〇、さわら三〇、ちひび一〇〇、甲いか四四〇、あなご三〇、すずき二四、ちわだい三〇、ひらめ一〇、かに四五、おじ一八、さば一〇、たこ二五、しろうお五〇

仁川正米市場

▲八日　今朝發天各地入電米穀なる休日前兵庫商に續いて大阪の反撥を移して當地正米市場は硬軟共に氣迷にて擧りたる賣買出來ざるも共箇下落り幾分の保合に過ぎざるが砕力三等合格三十四圓八十錢より五匠見當を唱へ居る

▲端境期は樂觀

米界は益々夏季の大波瀾を前にはんとし外米代用の實施と深淺買ひの激戰にて七月限は新甫早々大阪、東京が始め各地共に暴落を移して毎日高い安いを論じて居るが實際の鮮米の前途は公定機關たる仁川取引所の休會續行の歩合之を爭ふ事が出來ぬが正米の成行より觀測すれば米價は次第に騰貴すべき傾向にこそあれ下落は當分豫期出來まいと思ふ內地定期は外米代用の格付等を云々して居るが買叩き操縦筋に査な買はして居ると肝心の正米は一向頓挫せず高値を維持せみなを見ても內地供給不足は證明が出來るである然れば其

鍵を握れる鮮米の高

いは理の當然なるが併し財界の一變して不況時代に向つて居るから情には漫然たる强氣も持てぬが何しろ米價高の原因は米其の收穫減といふ以外に財界好況に伴ふ需給の增加と諸物價騰貴に隨伴した點もあれば勞銀が惡くなれば勞ひ需要も何程か減退する筈である其上外米は盛んに輸入ある個り農家は一般端境期に狙つてゐ惜んで居る振合なれば

米の節約が自ら

行はれ端境期迄には其の結果は現はすべければ悲觀するにはないと思ふ然れば勝に凶作に米買ふなさいふ事もあれば供給不足なと云ふ無意味に

高値を望むは

危險にして正米の思惑は妙味がなからう實は米崩氣筋に語れり

△六日出來値段

品目	値
▲三等神力	三十一圓五十錢
▲地摺玄米	三十一圓五十錢
▲籾 在來	十五圓
思波道神力	十五圓二十錢
▲大豆 白川物	十四圓二十錢
長淵物	十五圓五十錢
▲小麥 海州	十六圓
▲大麥 黃海道物	九圓七十錢

滿洲粟の賣行き良好

粟は三十三圓二十錢より五十錢見當迄買氣みの傾向あれば此迄にて保合を演じ其他外米輸入の傾向もあれば正米市場も氣迷裡に閑散の狀態なり

靑物市場

昨今の出盛物としてほうれんそう、しんきく、ちさ、なつば、れんげ、ふき、ど、さつまいも、みつば、類多く値段も小賣値さして變りなき一週間以來二割五分方の下落なるが之れに反して漸次出盛期にし向ひつゝあるごぼう、にんじん、ながいも、あかめいも、こつな、い、なかいし、ばれいの如きは二割五分方の騰貴を見た一般卸小賣値（百目建）左の如し（單位厘）

ほうれんそう三〇、しんぎく七〇、ちさ一二〇、なつば八〇、れんげ二〇、ふき一〇、ぜり二〇、たかな一〇、ごぼう七五、もやし四〇、にんじん六〇、れんこん一〇〇、うど一五〇、こいも一三〇、あかめいも一四〇、なかいも一六、くわい二八〇、さつまいも一〇〇、ばれいしよ五〇、ながいも一五〇、こんにやく三五、たけのこ二〇〇、きうり一五〇、しようが二五〇、わさび九五〇、わけぎ二〇、わらび六〇、みつば一二〇

北濱たより

波瀾益々大

透方買ふ期近の玉は高値にさす買人の手は拔けて未だ満腹といふ程に買ひ居らぬから軟派が調子に乘つて安値を賣たいくならば之に向ふであらうから此儘に止まらずさ崩落するが如き事は無くであらうけれど現株の極めて不潤沢であつた大新も値の昂まれると相場が稍やガヤみ來つたものでは地方筋へ敗散して居つたのが昨今休日中に賣り放ち來つた現物筋とか預取屋さかけ之を買取つて定期へ繋なるやうになつたか事が出來ろやうに考ずるから分から買方も強味を感ずるやうになつた丈け從來の如く一本調子の昇進は期米する事が出來ぬでならうか左れば今後は硬軟とも力戰するに從つて波瀾の起伏は益々大なるべきと共に個先は仕手の關係に由りて良しとも見れば惡しとも見ゆろ浮動的高下を繰返し大勢は材料の如何に由りて茲に騰落の分岐を告ぐるに至るであらうと想はれるのである

汽車

京釜線(南行)　[illegible]

同(北行)　[illegible]

湖南線(南行)　[illegible]

同(北行)　[illegible]

釜連絡

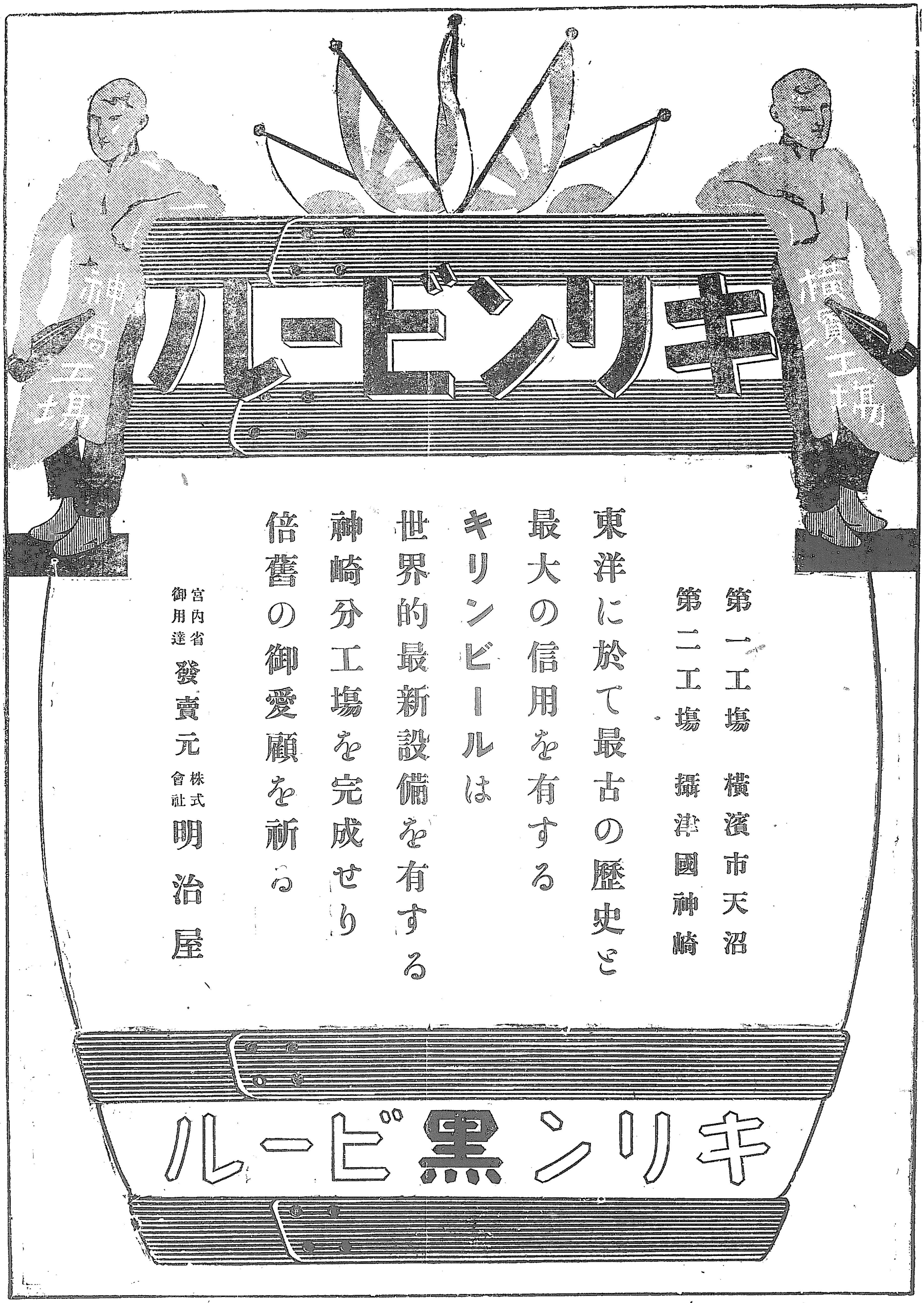
京義線(北行)　[illegible]

同(南行)　[illegible]

兼二浦支線　[illegible]

京仁線(仁川行)　[illegible]

馬山線　[illegible]



京城日報

第五版

前代未聞の盛況
記者倶樂部主催名士招待會

巴里特約記者 三月十九日在巴里 上田碩三

◎シャンゼリーゼの記者倶樂部の主催で開かれた名士招待會中三月十一日のフオッシュ將軍招待會程盛大なのはなかつた。會する者總數三百人日英米佛伊を首め悉く聯合國新聞記者のチャキ〳〵で就中英米佛が多數を占めるメーンテーブルを見渡せば無頓虎頭ミ云つた樣なフオッシュ將軍を中央に佛のタージュー米のランシング、ン、タイムスの新編輯長にして歐洲外交記者の大立物なるスチードミ英米佛の羣俠連が肩を並べて坐つた所は何樣壓物である。司會者たる該倶樂部の會長の紹介に依つて起立したフオッシュ將軍は拍手の裡に默して立つ事正に五分。軈て口を開いて述ぶる所の言句悉く千金の價がある搗てて加へて其の謂ふ所は米軍參戰の効能ミ米軍の戰ひ振りを賞讚するのだから堪らない、滿場總立ちミなつて拍手する、テーラーの聲を立てて噺立てる、遂には收容し切れないで二階のギャラリーに居た五六十人の人達までが堪まらなくなつて騷ぎ立てる、爲めに將軍も一口云つては停止し又一口云つては停止するミ云ふ調子で演說も碌に聞こえないミ云ふ大騷ぎ何樣こんな大歡迎の演說は遂ひに聞いたことも見たこともない

◎それミ比べては少々氣の毒であるが三月十九日に支那代表梁啓超氏の主宰晩餐會が同じ倶樂部で開かれた。其掲示を見て出席の記名をしたのが二十二人、それも日本記者ミ支那記者ばかりで外人記者は一人もない、日本記者の方では勿論同じ東洋族に關係浅からぬ支那代表だから成るだけ盛大にミ申合せた樣に各社一人乃至二人出席する事ミした。掲示は一週間ばかり張り出されたが御祕屋が一向附かないので當夜は幸ひ水入らずの東洋人の會で日本語の演說、支那語の飜譯でシンミりやりませうミ思つて當夜出席して見るミ、圖らざりき外人出席者がくるは〳〵總計正に百人ミ云ふ盛況。それも各燕尾服の盛裝で而も梁氏が馬鹿に主人振つた挨拶振り、こんな筈ではなかつたがミ質して見るミ出席者が餘り少かつたから主ミして佛人側に招待狀を出したのだミ云ふ道理を聞けば成る程御尤もではあるがそんなミミ知らぬ御互日本人は悉く存外の平常着で、あたり一面の正裝に對して一々言譯せねばならぬミ云ふ始末

◎軈てお定まりの晩餐が濟むミ梁氏は起つて支那語の演說を始める何のミとだか薩張り解らず固より外人連の解らう筈なく、それでも好奇心やら外交術やらで頗くは解つた樣な眞似をして聞いて居る者もある。佛語の飜譯を聞いて時々拍手する者もある。何たかチエコ、チエコミ頻りに繰返す梁氏の言葉の內でアルサス、ロレンミ云ふのが一つ明瞭に耳に殘る例の青島を佛のアルサスロレンに譬へて居るのだミ推測したが、遂に日本記者の手前ミうも云へぬミ見ゆ後で聞くミ「ア、ロ」二州が佛國に恢復せらるるを當然だミ云つたのだつた。斯くて梁氏の飜譯附演說に要せる所正に一時間、何のミとはない、日本人記者は大枚二十法の會費を拂つて支那のプロパガンダに手傳つた形であつた

對支外交方針
政府諒解急務

▲排日氣勢誘致　巴里講和會議に於ける山東處分問題は端なくも日支の國際關係を再び往時の疎隔せ態に導かんミする形勢を示せり我邦に取つても將た又支那の爲にも永遠の平和に鑑むるも頗る憂慮すべきことなり山東處分問題は結局解決せられ支那委員の主張せる直接還附若くは五國共同管理說は共に容るる所ミならずしが、右の結果之が報復手段ミして支那の在外委員及び同國一部の人士中に今尚ほ我帝國の行動を誹謗し盛んに排日的氣勢を煽動するに努むるものあり而して山東問題紛糾の情偽を檢するに支那委員の爭論は米國の支持與つて力ありしミ謂へば支那に於ける排日氣勢は軈て米國の親米傾向を招致すべく從つて戰時中に於ける日本の對支活動に慊焉たる在支米、英兩國の商人及び一部の政治家中には此機に乘ずべしミして支那に於る日本の勢力を驅逐すべく活躍を試むることも想像に難からざるを以て或は支那が往年辰丸事件に對して採りたる陋策を學び將來我邦に對して大規模のボイコットを決行し我對支貿易及び各種產業に打擊を被らしめんミ圖ることなきを保せず

▲政府間無諒解　山東處分に關する我邦の主張は對獨媾和後通牒にも亦今日まで支那政府ミの間に締結されたる各種の協約に依つても明かなる如く膠州灣租借地の開放及び專管居留地の設置を條件ミして之を支那に還附し鐵道竝に山東礦山は日支合辦の下に經營するものにして獨に共同經營ミなすものにして帝國士的野心を包藏するなどは支那政府聯合諸國共に諒解し居る所なり然るに講和會議の開始せらるるや支那の全權委員は國際聯盟を無視せる言動を敢てし以て膠州灣の直接還附を主張するに至りたることに就ては我國ミして少からず遺憾ミする所にして或は最近日支兩國政府間に諒解を缺けるの結果に非ざるか現內閣は其成立當初に於て對支外交の刷新を全國民に對して聲明し首相原氏の如きも不偏不黨の外交を行はんことを標榜して南北和平を勸誘し數次所謂南方派の首腦たる唐紹儀氏ミ會商する所ありたるにも拘らず巴里會議の經過は我支那の北方派を裏切り南方派ミの諒解は勿論北京政府ミの諒解も皆無の事實を示せるは誠に遺憾ミ云ふ可し（北京特派員通信）

雜論抄

◆林檎の主成分◆　林檎は他の多くの果物の如く純良の水分、自然の甘液を多量に含み、食物の價値ミしては比較的少量でありますが其營養分は決して輕視すべきではありません、勿論林檎は其品種によつて大いに組成分を異にし、或物は比較的水分が多く或物は少なく、澱粉、酸分、糖分が異つて居るのである、今或る數種の分析が綜合して見るミ其水分は八十乃至八十五パーセント、蛋白質即ち含窒素分は〇、五パーセント、澱粉及び纖分を含む炭水分は十乃至十五パーセント、酸分及灰分は一乃至一、五パーセントになつて居ます

財界の新舊人 (97)
嘉納德三郎君（上）
朝鮮銀行副總裁　西海生

京城財界の主力は特種銀行並に會社である、その首腦部は流石に多く官吏出身者で占めてゐる、その中朝鮮銀行副總裁の嘉納德三郎君は、最も高き官歷を經て來た人であらう、然もその割りに君は官臭殆んど無く、又各方面に評判の好い人である、君の最後の官職は大藏省專賣局長官であり、從四位勳三等を有し、退官ミ同時に錦鷄の間祇候を仰せ付けられてゐる、民間に於てお役所式に席次を設くるとすれば、君はその位記勳等よりするも、又宮中の御待遇より見るも首席に立つ人であらう

▲酒を以て有名な兵庫縣灘の豪家に生れ本年五十歳二十八年東京帝大法科を卒業、勝田主計、下岡忠治、濱口雄幸、の諸氏ミ同期であら、初め大藏屬ミして大臣官房銀行課に勤務した、その時から君は將來銀行家たる志望を有してゐたらしい、三十年司稅官に任官、その後青森松山の稅務監督局長、長崎並に橫濱の稅關長に歷任、大正五年一月、故井上鐵太郎氏が專賣局長官より臺灣銀行の頭取に出づるや、君はその後を襲いて、母國の專賣行政を宰する事約三年、七年六月退官して朝鮮銀行副總裁に就任したのである

▲官吏ミしては多く地方の官廳を歷巡しただけ、その昇進は幾分不遇だつたかミも思はれる、然も高等官一等一級に昇りつめ、その上は國務大臣たるより外に行き所を失つた譯であるから、先づ順調に步一步峠に上りついた方であらう、その鮮銀に入つたのは蒲汝の間柄たる時の藏相勝田氏の肝煎だつたこの噂も聞く、君は役人ミして上れるだけの途を上り、更に一轉銀行家たらんミするその素志を遂げした譯であらう、更に鮮銀副總裁には廻り合せでなつたものミ見るべく、初めから鮮銀關係を豫期してゐたのではあるまい、唯新領土の開拓ミ云ふ事には人一倍興味を有つてゐるらしい

▲二十餘年間、官吏生活を續けて來たゝめか、若くはその天禀か、君の面貌はいかにも嚴めしさうで又鹿爪らしく、官々僚々に固まつてゐるかに見ゆる、然も一度接すれば破顏一笑、更に口を利く間、その愛嬌に富んだ笑顏を續ける人である、態度も極めて平民的、言葉も叮嚀、殆んど澁滯せぬ調子で話を續けゆく所、全くその顏ミ違つた人であるミ云ふ事を知り得る、何人も君を訪うては、その調子の好いのさ、話のうまいのに感心して引退るであらう、地位の高い人は、ともすればその訪客に對し、不快の念を與ふるやうだが、君にはそれが殆んどない、概括的に云つて君の頗る江湖に好評なるは、因をその邊に淀してゐるミ見てよからう

▲警戒稍緩和　となれるから茲に痛切に擔保品を整理する必要に迫られて來た、最近銀行が容易に貸付けざりしが最近稍一度方に投機熱を煽い株券、動產を…

▲株式擔保の資金貸出しに對して證券業者が比較的有利なるよりも不動產の土地建物に投資するよりも事實なる…

京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奥田直
印刷人 小川三之助

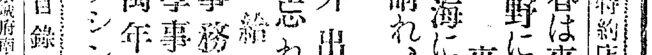
商業登記公告
株式會社朝鮮貯蓄銀行ハ大正八年五月五日本店ヲ京畿道仁川府本町四丁目七番地ニ移轉シ支店ヲ設置シタリ
右大正八年五月六日登記
京城地方法院鐵原支廳

一、…壹式貳拾錢分
右購買スル詳細ハ五月九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

稻麥扱

東京本所長崎町三丁目
仁川 作東 京城 實販

大隈侯主宰
大觀 五月號
奉祝東宮殿下御成年大典　大隈侯爵
國際勞働法原案を評す　法學博士 鹽澤昌貞
植民政策の原則と朝鮮　大隈侯座談十數項
帝國學術研究會講話
遷都と南蠻　印度追放錄
五十年前の江戸　戸川殘花
帝都の五十年　佛教の大弘通力
謎の亞米利加　喇嘛高僧を迎ふ
時局に感じて維新の精神　大隈侯爵
劇談 それからそれ　坪內逍遙
殺人犯　中村星湖
子供 八十枚の長篇　藤森成吉
公債募集と豫算の實行
本年度豫算の實行如何　武富時敏
日本と古樂器買入
發行所 東京牛込市谷町 大觀社

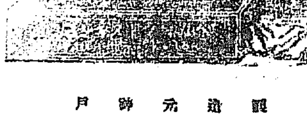
特約店募集
春は來た　野に山に來た　海に來た　晴れ〴〵こ　外出に　忘れ給ふな　事務にも　學事にも　萬年筆の　ワシントン

目錄進呈
京城府南大門通一丁目 鮮滿發賣元 宮川大學堂

一、車輛外一點 購買ス詳細ハ五月九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

長篇講談
最新刊
42 三家三勇士　悟道軒圓玉演
43 日本左衞門　伊東燕尾演
中判各四百八十頁 口繪二葉挿繪八十個 各四拾八錢
續刊 旗本五人男・祐天吉松・音羽の瀧・目黑小町
木下藤吉郎　羽柴筑前守　豐臣秀吉　太閤　赤穗義士　堀部安兵衛　田宮坊太郎　復讐天下茶屋　加藤清正　相馬誠忠錄　伊達騷動　加賀騷動　幡隨院長兵衛　小金井小次郎　國定忠次　關東七人男　野晒悟三郎　雷電爲右衞門　朱平內　鼠小僧次郎吉　日蓮記　六久保彥左衞門　笹原多助　天一坊　由井正雪　山中鹿之助　寬永三馬術　塚原卜傳　忍術の勇士　柳川庄八　柳生旅日記　水戸黄門漫遊記　二刀の譽　以上既刊

繪本稗史小說
新刊 第九集
飛驒匠物語・閑情末摘花・月氷奇緣
中判和裝美本每卷四三〇頁 口繪數葉挿畫約百個 各冊四拾八錢
悉く重版
（一）繪本三國妖婦傳・松浦佐用媛石魂錄
（二）道成寺鐘魔記・お六櫛木曾仇討・若狹浴衣・阿七演劇・船頭矢口渡（外五篇）
（三）松風村雨物語・繪本在原草紙・淨瑠璃姬物語
（四）復讐奇談小夜中山・十三夜・女自來也・皿屋敷物語（外四篇）
（五）總猿僧・優曇華物語
（六）花曆八笑人・滑稽臍栗毛・身代山吹色・遠の川・安本丹・腹借話
（八）（九）修紫田舍源氏 前卷・後卷
株式會社 博文館 東京本町

完成記念特價提供
日本風俗志
加藤咄堂先生著　平福百穗・石井柏亭・片山春帆・戸部隆吉 四氏風俗畫及挿畫　全三冊
世態人情の源泉　傳說日本の眞髄を明かにする我國稀有の大述作
特賣部數二千部限
定價 全部金拾圓五十錢
特價 八圓五拾錢
期限 本年五月十日限
大鐙閣發兌 東京 大阪

ベルベット石鹸
▼證據はこれだ！
人は云ふ―
『婦人は唯だ金錢の浪費者だ』と。
けれども、茲には
財布の口を引き占め得る
多くの婦人のあることを忘れてはならぬ。
婦人の皮膚を天然美化する
ベルベット石鹸を
愛用せらるゝのが
何よりの證據！

日本リーバーブラザース株式會社

農業經營研究會著
日本棉作要說
平和と支那綿業
丸山舍

算手必携 此は調法
小澤先生著 十二版發賣
定價九十錢
東京四谷 平凡社

◇日本の勝利 山東問題は斯して解決

山東問題に就き日本の勝利は明白となれり日本は山東膠州灣を支那に還附し山東に於ける豊富なる經濟上の權利を保留し青島に於ける貴重なる特權を享く可し日本は山東より守備隊を撤退し日本人に依り訓練されたる支那の特別警察隊は鐵山、鐵道を保護す可し(巴里電報)

◇日本優越權確認 人種平等膠州灣問題交換

二十八日の講和總會議開會前ウイルソン氏は牧野男に膠州灣問題に關し通牒を送りたるが之れに依りて同問題は日本に取りて有利となれり蓋しウイルソン氏は牧野男をして人種平等に關する其演說の內容を變更せしめ之れを膠州灣問題と交換せしめたるなり故に牧野男は總會議に於て日本は人種平等問題を強要せず又講和會議を脫退せずと聲明せるが斯くて極東に於る日本の優越權は確認されたり(巴里電報)

◇山東問題建議

北京政府外交調査委員會は同政府に對し山東問題は調印せず國際裁判に附する樣保留す可く巴里に訓令す可しと建議し徐總統も亦之を承諾せり(北京電報)

◇法律問題協議 倪嗣冲氏徐總統に密電

徐樹錚氏は五日午前八時天津に歸來し王揖唐氏も六日歸京の豫定なるが右は南方會議に關し法律問題に就き協議せるものにて倪嗣冲氏は充分安福派を援助する事となり又同時に倪氏は徐總統に密電を致し憲法制定令は總統に對抗せん爲めの馮國璋の陰謀なる旨を說明せり(北京電報)

◇倪嗣冲暗中飛躍 總統張をして勸告せしむ

南北和議に對し倪嗣冲氏の態度強硬張作霖、曹錕氏等と氣脈を通じ何等か計畫ある模樣なれば徐總統は五日趙爾巽氏を奉天に遣はし張作霖氏を說得せしめ張氏より倪氏に計畫中止を勸告せしめたり(北京電報)

◇人心稍沈靜 支那政府取締方針

七日は支那の國恥記念日に當り國民大會開催の模樣ありしも之を中止せしめたる爲め重大なる騷擾無かりしと然れど濟南、上海、南京、漢口等には北京學生團の電報ありて地方人を煽動せる形勢あり尚支那政府は各地の取締を嚴にし山東問題の眞相を明かにせんと其方法を講じたる爲め人心稍沈靜し上海有識階級は一般に平靜なる態度を持し居れど各地に排日運動を企擧する者あるを以て未だ樂觀を許さずと(東京特電)

◇曹總長辭表提出

學生暴行事件の結果曹汝霖氏は五日辭表を提出し北京大學校長蔡元培氏は既に引責辭表提出せり尚五日總統府に特別會議を招集し此等事件の善後策に就き協議せり(北京電報)

◇學生暴擧と宣布

北京學生暴動に就き徐總統は學生の擧は其分に非ず主なる者を法廷に渡し處罰せしめ其他の狀況に就きては敎育部に命じ調査の上何分の處置を爲す可き意味を宣布す可しと(北京電報)

◇支那學生監辭職

支那の排日暴動につき東京に留學せる支那留學生も不穩の擧に出でんとする傾向あり支那留學生監督江庸氏は之が爲め甚大なる壓迫を受け到底其責任を果す能はざるを以て六日午後遂に辭職せり支那留學生にして今後不穩の擧あらんか既に留學生監督の辭職せる以上之に對する措置は大問題なる支那態度次紛糾すべしと傳へらる(東京電報)

◇亭氏經過稍良好

亭宗轍氏は經過稍良好なるも一兩日最も危險にて面會を謝絕し全力を盡して治療に從事中なり(北京電報)

◇輕々しき英斷は禁物 滿鐵社內の改革及經營方針變更等は未だ考慮せず =中西滿鐵副社長談

九日赴任の途に就く中西滿鐵副社長談左の如し(東京特電)

予は九日林關東長官、野村滿鐵社長新任理事等と同道滿洲に赴任の筈なるが着任の上は一通り各方面への挨拶を了り大體の用事を辨じたる上早速沿線一帶を視察するなり予は今日迄不幸にして未だ滿鮮方面を視察する機會を得ず從つて同方面の智識も單に書物の上にて

▲大體を會得 し居るのみ今回滿鐵に入り社內の事其他多少研究の步を進めたるも之れとて文書上の研究に過ぎざれば未だ淺薄と言ふの外無し從つて斯かる疊の上の水練的智識を基礎とし滿鐵將來の經營方針又は改革方針を立つるが如きは斷じて爲さざる所なり野村社長は嘗て滿鐵總裁たりし關係等より內外の事今尙ほ記憶に存す可きも之れとて當時と今日とは滿洲を始め滿鐵又事情の異れる者多々ある可きを以て恐らく昨今一部に噂され居るが如き社內の改革經營方針の變更等は未だ考慮の中に無かる可く右は何等か外間の

▲揣摩臆測か 全然予等の心事を識らざる者の揑造說なる可し元より野村社長の心事を妄に揣摩するに非ざるも前述の如き事情に暗り常識を以て當さに然る可しと信ずる次第なり何れ沿線を精細視察し社內の事情篤と研究の上改革を要する者は改革し方針の變更す可き者は變更するに躊躇せざるも此等は何れも愼重研究の上の事にて輕々しき英斷は却つて禁物なり予は予等の全く與り知らざる浮說に對し滿鐵關係者が誤解せざらん事を望まざるを得ずと云々

◎露貨と輸送問題 西伯利最近事情 松原榮氏談

總督府及政友本部の囑託を受け此の程北滿西伯利地方を視察して歸城せる松原榮氏の談に曰く

這回の旅行中殊に參考に供したきは露貨問題と輸送問題である露貨は最近哈爾賓の傅家甸信託所の市場相場千八百留にて實際市中の換錢は五十留乃至百留位の下落の原因は留の支那準備金

▲相違がある 留相場がなくて不換紙幣のみとなりたる結果と今一つの原因は交通輸送の機關が不完全なる爲め奧地から物資の輸送が出來ず片爲替となつた結果であるが根本的近因は勿論オムスク政府がケレンスキー紙幣中二十留と四十留の二種の流通禁止である夫れが爲め一般他の種の留まで禁止せられまいかとの恐怖心を惹起した樣である而して之が對應策としてはオムスク政府に吾が政府より抗議を申込み居れるが多分取消は出來まいから無期延期となるであらう其條件としてオムスク政府の承認を持出してるが之は自ら別問題である、交通輸送の現狀は貨車及び機關車は使ひ放しでソールも

▲枕木か腐れ たまゝで輸送能率が低減し其の上列國の出兵で貨車を取合ふ狀態であるから勢ひ滯貨を免れない殊に大豆は各驛堆積の狀況である、然らば此の滯貨の將來は如何なるかと云ふと東清幹線、後貝加爾以西オムスク迄は亞米利加の管理となり東清線(長春哈爾賓間)ウスリー、アムールは日本の管理となつたが此等の線路の復舊には約六箇月を要する豫定であるが滯貨掃滅の目的で吾軍隊は此夏は軍用には鐵道輸送をせずニコラスクより黑龍江を溯りてハバロスクを經ステレチエンスクに至る間航運を利用する筈であるから幾分滯貨を掃滅して輸送狀況がよくなるであらう日本軍隊は引上げつゝあるから旅行には

▲不安である かと云ふに決してそうでない尙各驛に軍隊が多いから何等の不安を感じない予は二十年前に一度西伯利內地を旅行した事があるが當時の方途に不安で今度の旅行に比し誠に隔世の感がある

◎西伯利鐵道管理費と割當

西伯利鐵道の管理につきては關係諸國の間に(一)該鐵道の大改良を爲し且つ其の賃率の決定を爲す等飽迄も踏み込みたる所置を取るべきか(二)又は斯く迄踏込みたる所置を取らず單に當面の事務管理に止むべきかに關し議論あり若し踏込みたる所置を取るとすれば管理費は

▲少くとも四億 を下らざるべく若し當面の事務管理に止むるものとすれば左までの費用を要せざるべし米國の如く豐富なる財力を有する上に西伯利鐵道を其勢力圈內に收めんとの下心ある者は第一策を取ることを希ふべきも他の諸國は費用の點だけにても第一策を……

支那に其の分擔額を支出するの資力無きは明白なれば他國にて一時立替ふることとなるべし而して我國が右資金を何れの財源より支出すべきかは目下

▲政府にて研究 中なるが臨時軍事費及び臨時事件費は其の豫算編成當時に斯かる費用の支出を豫想せざりしを以て之れより支出するは妥當ならず臨時國庫證券を發行して該資金を調達すること西伯利管理費の支出が友國の財政を援助することなるを以て強ひて解釋すれば解釋し得るを以て此點より見て必ずしも失當ならざる如くなるも臨時國庫證券の收入は特別會計に屬するが故に西伯利鐵道管理費の如きものに之を使用するは適當ならずとの說あり結局は剩餘金支出となすの他なからんと

◇貴衆兩院賀表捧呈

東宮殿下御成年式に際し貴衆兩院より捧呈の賀表左の如し(東京特電)

貴族院

貴族院議長臣德川家達、誠歡誠喜頓首頓首

恭シク惟ルニ皇太子殿下天資英明神采秀發、文武ノ材、夙ニ備ハリ、孝友ノ穆、大イニ著ル、仁德克ク承乾ニ協ヒ寶齡既ニ成人ニ達シタマフ、玆ニ惠風和暢ノ辰ヲ以テ春宮成年ノ儀ニ膺ラセラル臣等慶典ノ休祥ヲ仰キ國本ノ深固ヲ視シ敬ミテ賀ヲ修シテ奉賀ス、臣家達踊躍歡抃ノ至リニ勝ヘス謹ミテ言ス

衆議院

衆議院議長臣大岡育造、誠惶誠抃謹ミテ言ス

欽ミテ惟ミルニ殿下聰明睿達孝慈並ヒ至リ齋莊淵深、文武兼ネ收メ給ヒ、往ニ寢極ヲ貳ヒテ繼體ヲ正シ、今冠儀ニ膺リ成年ノ式ヲ享ケサセ給フ、雅頌洽宇、成、慶ヒ謳歌紛郁萬姓、畢ク賀ス臣等休明ノ昌紀ニ際シ、欣躍ノ至リニ堪フル無シ、恭ミテ捧ケ上リ鶴算ノ無疆ヲ禱リ奉ル臣育造誠懽誠抃謹ミテ言ス

◇寺內伯快癒

寺內伯は病氣全く快癒せるを以て七日床上げを爲し來る十三日新築別莊に移轉す可しと(東京特電)

◎現株市場計畫 愈々出願す

京城現株市場設置問題其後の成行を聞くに發起人側に一二旅行者ありて遷延し居たるも四五日前全部の顔合せを了したれば野本氏宅にて相談會を開きたる結果京城側發起人として古城、山口、天日、田中、篠田、新田、有田、野本の九氏に決し之れに全鮮各商業會議所會頭若くは副會頭を以て發起人と爲す筈なるが今回の設立動機は昨年九月全鮮商業會議所聯合會を開きたる際鎭南浦商議會頭富田儀作氏先づ提唱して其の趣意書を配付し一般の贊成を求めたるに始まり今日迄の運びに立至りたる次第なるが資本金に關しては一時二百萬圓に變更說ありたるも差當り最初の計畫通り百萬圓とする事に確定し愈々八日其の筋へ出願したるが時勢の要求する處に從ひ其の筋にても好意を以て許可に附する意嚮なるが如し

◎代理業者昇格 訴訟 近く制令の發布を見ん

朝鮮に於ける訴訟代理業者中には朝鮮總督の認可を受けて訴訟事務に從事する資格を有する辯護士の外に統監府時代に於て理事官が訴訟代理業者の缺乏を補ひ且つ不正なる行爲を爲す三百式代辯者を防遏する爲め

▲法律の素養 あり訴訟事務に經驗を有する者に對し或特定の地域を限り他人の爲め訴訟事務に從事することを許可したる訴訟代理業者あり之れに普通辯護士の資格を與へんとの意嚮其筋にありとの事なるが是れ等代理業者は明治四十二年十一月統監府が舊韓國の司法權を委任さるゝに至り新に統監府裁判所設置さるゝと同時に朝鮮に於て辯護士の業務に從事し得る者は之れを內地の辯護士法に規定せる正規の資格を有する者たるを要する時代に於ても實際に於て

▲正規の資格 を有する辯護士の開業せるもの少なき理事廳時代に於て代辯業を許可せる訴訟代理業者の失職せん事を慮かり特に彼等の業務を繼續する事を認め今日に及びたるが現在其數十六名あり然も其の今日迄の實績を見るに朝鮮に司法機關の未だ完備せざる舊韓國時代より多年訴訟事務に從事し以て朝鮮の司法界に貢獻せる功勞の沒す可からざるものあるのみならず現に同業に從事する者は概ね各種の公職にも從事し

▲人格上非難 さるゝ點無く社會上相當の地位を占むる者多く且つ訴訟事務に關しては多年の經驗により技術の點に就ても普通辯護士に比して何等の遜色なく却つて優秀なる者も少からざるより之に普通辯護士たるの資格を附與する事は必要にして妥當なる措置なるを以て總督府に於て種々研究中なりしが其機運に達したるもの、如く或は近くこれが制令の發布を見るやも知れずと

▲取敢へず必要 なる

管理費二千萬弗を日英米佛の四國にて分擔支出することだけは決定したるものゝ如く唯支那は右資金支出に參加したき希望あり之れを容るべきや否やは未だ決定に至らず恐らく支那の希望を容るるとしても取るを躊躇するもの、如く斯の根本問題につきては尙ほ意見の歸一を見ざる模樣なりと

◎朝鮮牛皮聲價

朝鮮牛皮の聲價に關し最近大阪商業會議所の調査せる所に依れば二三年以前迄朝鮮牛皮は三十萬枚の移入ありたるも昨年より支那牛皮に壓倒され十萬枚內外に減少せる狀況にて一般の商人は朝鮮牛皮に注目せざることゝなれり而して支那牛皮輸入の爲め朝鮮牛皮は一般に需要減退し茲三年前の如き好價を博する能はず大皮及び小皮は歡迎せらるゝも中皮は歡迎せず其理由は朝鮮牛を農家にて取扱ひ宜しきを得ざるため敎すれば即ち皮の中央に傷を生じ需要に不向き牛部分は上物牛部分は下等品となる故なり、京城附近及び釜山附近のものを比較するに平壤以北と比較すれば多きに依り劣なり鮮牛皮は品質細く且つ強き點は優れるも敎すれ多き傷め日本產に劣れり要するに今後鮮牛皮の改良すべき點は(一)敎すれ(二)去勢を皮に付けざること(三)屠殺する時皮の裏面に肉物を付けざること(四)鹽する時に注意を要す(五)乾燥く夏期貯藏に困難なるに付充分乾燥せしむること等なりと

◎電興創立披露宴

資本金一千萬圓を以て五日平壤に創立總會を擧げたる朝鮮電氣興業株式會社の京城に於ける披露宴は八日午後七時より朝鮮ホテルに開催されたりデザートコースに入るや專務風間氏助米山久彌氏の挨拶に對し宇佐美內務部長官の謝辭あり主客歡談の裡に九時過散會各種の餘興あり盛宴なりき尙ほ來會者の主なる向は宇佐美小原持地鈴木各長官兒島中將南本技師久水課長秋山局長村田少將嘉納鮮銀副總裁松平紳士滿東拓理事釘本副會頭その他官民有力者約百名なりき

◎林長官發期

林關東長官は十一日神戶發蘆南丸にて赴任す可しと

◎滿鐵正副社長

野村滿鐵社長並に中西同副社長は廿九日東京發十一日神戶發にて蘆南丸にて赴任す可き旨京城管理局に通知ありたりと

◎松永長官視察

松永京畿道長官は畜見技師及び山內地方係主任を隨へ加平郡管內騷擾後の狀況視察の爲め八日朝出張せるが九日歸任す可し

◎マーブル博士

日本支那及び比律賓視察團マーブル博士一行二十名は十日夜入城朝鮮ホテルに投宿の豫定なるが一行は十二日又は十三日奉天に向け出發す可し

◎芳澤參事官出發

新任北京大使館參事官芳澤謙吉氏は客月來城中なりしが九日午前十時南大門驛發特別急行列車にて內地に歸還すべし

◎軍經理部長挨拶

新任軍經理部長主計監木村重行氏は八日總督府其他を訪問し新任の挨拶を爲したり

◎東拓庶務課長

東洋拓殖會社京城支店庶務課長米山久彌氏朝鮮電氣興業專務に就任せし結果その後任は詮衡の末七日左の如く決定したり

參事 吉田英三郎

京城支店庶務課長

◎韓銀支店改稱

韓一銀行にては東部東大門西大門三出張所を支店に昇格するに決定せり

◎蠶糸會社招宴

先般設立許可されたる朝鮮蠶糸株式會社にては八日午後七時より南山町花月に於て開業披露宴を開き官民多數を招待せり

◎長岡視察團訪府

八日朝入城したる長岡商業會議所主催滿鮮視察團一行十名は同日午前總督府に小原農商工部長官其他に訪問し産業狀態其他種々聽取する處ありたり

人事消息

▲久米民之助氏(久米合資會社重役) 八日夜入城朝鮮ホテルへ

▲中岡楠雄氏(殖銀大邱支店長) 同上

▲野口耕一氏(土木局元山出張所長) 八日夜入城浦尾へ

▲吸湯忠太郎氏(元山水力電氣會社重役) 同上

▲川井源五郎氏(東京辯護士) 八日夜入城大眞樓へ

▲平尾贊平氏 夫人同伴八日夜勞釜山に十一時發列車にて京城に向へり(釜山特電)

鳥瞰錄

最近或る處で西伯利救濟如何の議論に花が咲いた時某氏の氣焰に曰く▲近代世界の文化は西半球の歐羅巴から東に向つて流れ又東半球の亞米利加から西へ流れて相交錯した文化を生んだ▲所が其中間に介在する西伯利一帶の古き異民族は此の西から東へ東から西へ寸る文化の潮流から置き去にされて居た▲之を救ふ者は歐米文化の間に挾まれて獨自一個の文化の發祥を遂げつゝある大和民族の使命である▲人文地文の歷史的法則から見ても彼等は吾が大和民族の文化を呼吸して將來ある民族的生活に復活せねばならぬ▲と當るべからざるものがあつて流石の議論家連中も大分當られた相な▲在横濱の鵞人中に大金持ちのレヴヅさいふ爺さんがある▲瑞西時計學校卒業と同時に只二個の時計を携へて五十何年前かに渡來した▲而し其時計から今の身代を刻み出したのだが講和會議の結果敵國人の財產を沒收する事となりしが▲日本で沒收處分される分には一向殘念とは思はぬと爺さん平氣で納まつてゐるとは面白い

織元の廉價

値段が安くて何故品が好い

年額四百萬圓の織物大產地に在り丸登合名會社は從來幾多商人の手を經て需要者に渡りつゝ有りし品物を織元より直接に提供致し候へば良價の結果今や歐米式通信販賣に依り經費を節減し天下需要者諸氏の御用を承りつゝある所なれば丸登工場の本年夏物流行品は珍柄を以て提供す

○特製本絹紬 九圓五十錢
○別製高貴織 九圓五十錢
○精巧縮緬 六圓五十錢
○特製緋錦紗 六圓七十錢
○同 セル 四圓二十錢
○同好錦セル 五圓七十錢
○新立高貴織 四圓七十錢
○珍柄名仙紬及び絣 四圓二十錢
○若葉名仙絣 四圓二十錢
○最新流行朱子帶 四圓五十錢
○流行物二重帶 三圓五十錢
○八千代羽二重 三圓二十錢
○賀茂川縮緬兵兒帶 三圓七十錢
○大巾縮緬一尺物 二圓
○特製兵兒帶 七圓
○特別製品絹紬 拾參圓より拾七圓迄
御注文は男女年齡の別を記し御注文有れば珍柄選定上引換便で送る

栃木縣足利町六丁目
丸登足利織物合資會社
振替東京三五二七番

京日案內

普通一回前金 七拾錢 ▲申込後中途解約 ▲六回以上の御申込 ▲御前金は返信無之

給仕急採用 年齡十四五歲普通學校卒業
黃金町三丁目二九一 大陽生命保險會社京城支部

店員給仕募集 店員商業學校卒業生十七歲以下小學校卒業生十五六歲身元保證人及履歷書要す
仁川 京城日報支局

藥局生、看護婦見習看護婦募集
田中丸病院

洋種蜜蜂 探蜜用女王種蜂
京城義州通一丁目九一番地 電話八三五番 認助

看護婦並見習募集 二名を要す詳細面談又は履歷書送附あれ
龍山元町二丁目 小川醫院

募集 內地人守衛員 (卅歲未滿) 內地人女子
希望者は履歷書携帶出頭すべし
龍山 總督府印刷所

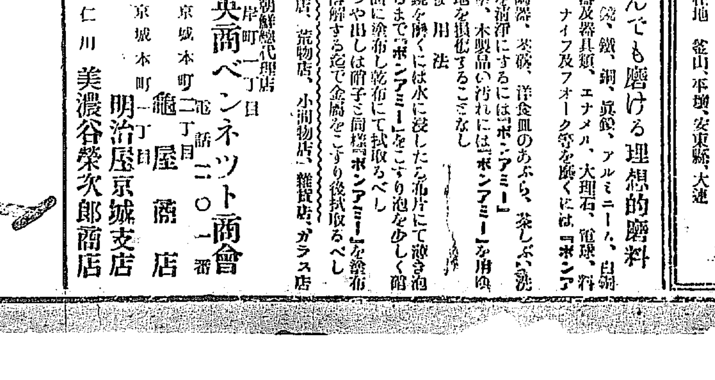
看護婦及見習 至急募集
本人來談あれ
京城太平通二 一片山內科醫院
電話一九五一番

募集 當院代診并看護婦見習看護婦各一名入用
御希望の方は履歷書及寫眞至急御送附を乞ふ
平壤府 好生堂病院

募集 日本商事務員として採用す相當教育を受け多少英語會話をなし確實なる保證人有る者技術次第昇進を保證す
京城太平通 シンガー裁縫會社

◎鞄製造 弊工場は設備完り直輸入汎運御注文に應じます
京城本町一丁目 高木鞄店
電話二五四番

佛法は釋迦に ポンプは熊平に (カタログ進呈)
京城 熊平支店
電話長二一二四
振替京一二五三番



BONAMI 理想的…ボンアミー…萬磨料

◎何んでも磨ける理想的磨料

一、眞鍮、銅、鐵、眞鍮、アルミニーム、白銅等の食器及器具類、エナメル、大理石、琺瑯、料理用鍋、ナイフ及フォーク等を磨くには『ボンアミー』

一、各種の陶器、茶碗、洋食皿のあぶら、茶しぶ、洗面器等を清淨にするには『ボンアミー』

一、ペンキ塗、木製品の汚れには『ボンアミー』を用ゆれば生地を損傷することなし

◎使用法

一、硝子、鏡を磨くには水に浸したる布片にて泡を生ずるまで『ボンアミー』をこすり泡を少しく硝子、鏡面に塗布し乾布にて拭取るべし

一、金屬のつや出しは硝子と同樣『ボンアミー』を塗布し錆を溶解する迄で金屬をこすり後拭取るべし

各地の有名なる藥店、金物店、荒物店、小間物店、雜貨店、ガラス店等にあり

特約販賣店

經營ボンアミー會社朝鮮總代理店 仁川海岸町一丁目 英商ベンネット商會 電話二〇一番
京城本町二丁目 龜屋商店
京城本町一丁目 明治屋京城支店
仁川 美濃谷榮次郎商店

醇美清酒

金露

發賣元 京城南大門通五丁目 大塚合名會社京城支店 電話四〇一番 振替京城五七〇番

◎到る處酒店雜貨店に販賣せり
◎滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連

縮刷 死の蔭よ

蘆花德富健次郎著 ポケット型
六百餘頁寫眞版十數葉入 定價壹圓五拾錢送料八錢
發行所 大江書房 東京々橋區南鍋町二丁目十五 振替東京二三九四八
賣捌所 東京堂書房 東京神田表神保町 振替東京二七〇

感想記にして旅行記なり然も其の物色は北遊記を掃ぶ著者一流の趣味を掩はず飾らざる筆者の人格の發揮して殘さゞる處にあり次に其の良を見る柳致は著者の敏感さ藝術的情緒と併せ之を敍述するに其的確さ鮮豔輕致の形を兼有せる縱橫自在に驅使する所の詩人的才筆を妙文とにあり興味津々讀者を離さゞる事を知らさらしむ(新聞評)

◈化學工業藥品
◈分析藥品器械
◈工業用酸類
◈製革用藥品
◈鑛山用藥品

合名會社 鳥久商店出張所
京城明治町二丁目
電話長四四四四番

東京株式

神戶期米特電

下關期米特電

天氣豫報追報

曇但小雨

○佗住居の前獨帝 (3)

予は寧ろ一個の傀儡 白國問題は明々白々 英國は露國に欺された

戰爭の渦中に

彼の論に從へば戰爭の原因は、バルカン半島に於ける露墺の爭ひである、露國は其の足場を得んとし墺國は益々衰退に傾かんとしてる處へ、佛蘭西は財源を露國に與へんとし英國亦露國の味方たらんことを誓つた。露國の財政及び軍隊の組織は比較的鞏固なる狀態にあつた。露國は自己の强力を頼み將に墜落せんとせる墺國と決戰するの時機既に熟せりと決した。獨逸は勢ひ戰爭の渦中に卷き込まれた、何となれば露國に反對して墺國を救濟するは獨逸の義務であると同時に此危險なる露國の活動を看過することは獨逸自身の安全と云ふ上より見ても不可能なことであつた。

四圍みな敵！

獨逸帝國内に軍閥ありと云ふ批評は彼が冷やかに拒絶する所である、彼は熱烈に辯護して云ふロイド、ジョージは云つたではないか、英國が强力なる海軍を有する資格あると同じく獨逸は偉大なる陸軍を所有すべきであると。更に彼は云ふに自分の四圍皆敵を以て圍まれて居た、彼は問うて云ふ、英國は獨逸の地勢内に於て何事を爲したりと思ふ、見よ佛國は獨逸國境に至る大規模の鐵道を敷設せんため露國に財政上の援助を與へて居たではないか。彼は更に云ふにベルンハーヂーの名は彼の著書が英譯されて一種の軍事上のシェークスピーアの地位を占めるに至つて初めて獨逸に知られたのである、獨逸國民は平和を願つて惡煽動家は獨國政治家中極少數者に過ぎない、露國より侵略さるゝ恐れありしに

唯一個の傀儡

拘らず何等防禦の方法さへ講じなかつた　何故に聯合軍方に加はらざりしやこの質問に對して云ふに露國を信ずる能はざりしためであると、彼の見る所に依れば聯合軍は其强大なる力を以て獨逸帝國に集中し獨逸產業の發達、獨逸の繁榮を嫉妬してゐた。彼を以て仲裁政治を爲す者なりとの批評を彼は嘲笑する、彼は戰爭中獨裁政治を行ふより寧ろ一個の傀儡に過ぎざる感がした、各將軍は各其欲するままのことを皇帝の名の下に爲した、今日は此方、明日は彼方と彼は國内を奔走せしめられた、大本營にある時と雖も電話のベルの命ずるままに行かなければならなかつた、彼は一度たりとも將軍の計畫を聞くを許されなかつた、彼はヒンデンブルグとは仲良かりしもルーデンドルフとは甚だしく不和であつた

ベルギー問題

ベルギー問題に對して云ふに此の問題は實に明々白々何等の疑問も存しない、中立國を通過するのは獨逸の權利である。勿論獨逸は英國を敵とするを欲しなかつた、露國を後方に控へ前面に英國を控へ、斯くして腹背に敵を有することは獨逸の不利たることは云ふまでもない、然もベルギー國民自身亦獨逸に取つて恐るべき敵であつた彼等は窃に獨逸を攻撃せんとして居た、彼は結局戰爭の全責任を英國に負はさんとした、英國に對しては彼は甚だしく憤りる旁へを有してゐる、彼は嘗て英國政治家を以て戰爭を起さしめしものなりとの考を今や少しも有して居ない、彼は云ふに英國は露國より欺かれたのであると。露國前陸相は獨逸皇帝に取つては惡魔である、彼は口を極めて露前陸相を罵倒する、露國の現狀は慥に神の審判であると彼は云ふ。

瓔珞に似た藤の花（清水谷にて）

○東京市に十萬圓下賜

陛下には特別の思召を以て東京市に御内帑金十萬圓下賜の御沙汰あらせられたる趣拜承す（東京電報）

○鮮人牧師農民を說く

感ずべき行爲

咸鏡南道德源郡豊上面居住の姜某は曾て面長の職に在りしとあり數年前辭職の上基督敎講説所の敎師となり多少の手當を受け居たるが今回の騷擾事件が基督敎に關係ありしことを聞知するや斷然基督敎を捨つると共に居村及び附近を巡廻して地方民の煽動

▲誘惑に迷 されざる樣說諭をなすと共に總督の諭告文及告文を筆記し是れが周知に努力し專ら騷擾は煽動せられたる愚昧者の所爲なれば之に附和雷同し妄動すべからざるを戒め且つ併合以來安堵して業務を勵み文明の恩澤に浴するに至りしは

▲新政の賜 に外ならず往時の誅求苛斂に苦みたるに比せば幾倍の幸福なるを知らず又自己の心掛け次第にては官吏に任ぜられ高官に昇ることを得るに至るは仁慈なる大御心に出づるものなるを力說し四方民に多大の感動を與へたり爲に豊上豊下兩面民は極めて平穩にして何等動搖の模樣なかりしと云ふ

○負傷した章公使

山東問題のみならず、借款に對する謬見から加害

北京排日暴動に際し先頃日本を去つた駐日公使章宗祥氏が重傷を受けたとの說に就き外務省小村政務局第一課長は語る『當局へは未だ電報が屆いて居らぬがそれは事實に相違あるまい併し原因は山東問題のみではないと思ふ過般章公使が日本を去る時在京支那留學生等は

▼借款亡國 など大書し旗を樹て示威運動をやつたことがある、是は前內閣が北方の段祺瑞援助をやつた反感らしかつたが偶今回の山東問題を機會として勃發したものだらう章公使は昨年九月廿四日後藤前外相との間に山東問題に關する七箇條の協約をしたが其第六條にて元獨逸の專有たりし

▼膠濟鐵道 所屬確定の上は日支兩國に於て合辦經營することしたのは獨逸時代よりも日本の態度が公明正大なるを示し又第一條たる『膠濟鐵道沿線の帝國軍隊は濟南に一部隊を殘留する外は總て之を靑島に集中する事』は處々に散在せる軍隊を一箇所に集中したもの故日本は支那の主權を

▼尊重した譯 だが此誤解が勃發したものだらう即ち今回の山東問題に伴なひ、借款問題等日本に關したる問題のみでなく支那の南方北方の關係も混在してゐるに相違なく曹汝霖氏も章公使も段派と思はれてゐたのだ又或一說によると我小幡公使も累を加へられたとの事だが果して事實とすれば確か日本が

▼支那に對し 壓迫的政策を採つてるとの誤解より來たのだ、併し現內閣は內田外相が過ぐる議會にて發表せる對支政策の態度を以てし（一）支那に對しては總て公明正大（二）支那の希望はそれが正當のものたる限り總て援助を與へるの

▼二大綱目 を飽くまで保持するの方針だが支那の多數は却つて是に疑心暗鬼を生じたのが右騷動の原因だ、併し一方日本が專心此二大綱目を事實の上に現はして行けば恐らく彼等は遂に初めて日本の誠意を諒解するだらう』云々（東京）

○柳原二位の局に叙勳

東宮御成年式に際し柳原二位の局に對し正二位に叙す旨御沙汰あり（東京特電）

○章公使絶命說

領事館には何の通報もない

北京電報は今度の排日暴動で重傷を負ふた章駐日公使の逝去を報じて來た、明治町二丁目の支那領事館を訪へば病臥中の領事は館員を通じて語る『章公使重傷說は新紙に依つて承知しましたがまだ本國からは何等の通報が有りません然るに今又逝去說を聞くなどは聊か不審に堪へません章公使はまだ全然駐日公使を退任した譯でないから若逝去されたとすれば何とか通知がある筈です章公使は曹汝霖、陸宗輿氏等と共に親日派の人です若其逝去が事實とすれば日支親善の上から云つても甚だ遺憾と云はねばなりません』章氏は浙江省出身で上海南陽學校卒業後日本に留學しました明治三十六年帝大法科卒業の法學士で民國元年大總統の秘書官となり法政局長を兼任した事もあり同三年三月司法總長の椅子を占め六月には農商總長を兼任して居ら中同月三十日駐日公使に任ぜられたのである

○維也納に暴動起る

死傷者夥し

維也納の失業者の一團は十八日議會の周圍を取卷き石油を以て二室を燒けり是が爲警官出動五名を射殺し四十名負傷せり（巴里電報）

○落雷の刹那

電線が青く燃えた

七日夜落雷した舊龍山幹線五十六號の電柱は一面黑焦となり電線は總て燒け切れたらしい同電柱の直下に近い元町三ノ二林氏雄氏を訪うて模樣を聞くと同氏の妻女は『私共は其の時恰度芝居に行つて居りましたが二度、ドシンと云ふ大きな響きに驚いてゐると電燈が消え雷鳴が酷くなるので留守居の十七になる妹の身の上を案じて居りましたところ誰かゞ元町三丁目に落雷したと云ふので驚いて歸宅しました恰度電柱が燃上り其電柱から南方へ電線が四五間程青く燃えてゐましたが何うなる事かと心配してゐましたが其內に電氣が通じなくなつたので火が消えたので漸く安神したやうな譯です』云々附近は一時非常な大騷ぎを演じ消防隊が出動した位である

○鮮人旅行者

極めて尠い 僅か百餘名

取締規則發布以來

鮮人旅行取締規則を發布すると共に去月十五日より實施した今本町鍾路兩署に於て下附した旅行證明書數を聞くに實施日より五月一日迄に本町署が僅に十八名鍾路署が一百名で是等の旅行先は滿洲が一位其他は東京大阪であるが殆んど商用と云ふ名義で中には滿洲に於て金貸業が營み度いと云ふのもあつた本町署に於ては旅行證明書下附者に對しては即時下附して居るが其他の者は各管轄內派出所の證明を附けさせる事になつて居る

○山火事頻々

損害額三千八百圓

慶北郡部に於ける山火事の頻々たるは屢報導するところなるが又復去月二十五日より二十九日迄の間に於て榮州郡に一ヶ所英陽郡に一ヶ所奉化郡に五ヶ所都合七ヶ所燒失せる國有林面積二千八百八十町步に達したり損害は三千七百五十圓の見込みなりと（大邱）

○梅に脅迫狀

支那學生の所爲

在京の支那留學生は目下帝國劇場に於て興行中なる支那名優梅蘭芳に休業せしむ可く脅迫狀を送れり（東京電報）

○陝川に疑獄

慶南陝川郡邑內面駐在所警務署長現管理者淸宮某に關する疑獄事件惹起したるが本人は目下逃走中也（晉州）

○鰊船六隻

浦鹽に抑留

極東漁業令に關はる

露國漁業監視船は去る三月二十五日ウスリー灣に於て日本形鰊船六隻を抑留し沿黑龍江總督府管內水域內ウスリー、カンガウズ其他米國の港灣にて無許可鰊を買收し外國に輸出したりと云ふ廉にて極東漁業令に問ひ浦鹽裁判所に告發したるが該漁船六隻は元山より鰊買收のため三月上旬同港方面へ赴き多數の買占品ありたる由なるも決令に依り悉く競賣されたりと云ふ

▲元山府町三大谷杉太郎所有鰊御幸丸（荷主同地組藤成）▲新潟縣[illegible]浦原郡[illegible]村大字島見濱有田清五郎所有第三伊勢丸▲山口縣下關市郎之町山神組山野商吉所有第五山神丸▲高知縣安藝郡[illegible]合社佛組神組[illegible]丸▲兵庫縣津名郡假屋町の內久保村森野左次郎所有鰊假屋丸（荷主靑津新出洞組藤成）第一千代丸▲同上所有鰊荷主元山居住群八ソコペイ第三千代丸

○福井市の大火

損害八十萬圓に達す

七日午後二時半福井市に大火あり六百四十三戶を燒失し負傷十六名を出せり損害約八十萬圓に達せん（東京電報）

▽同上別報 全燒一千戶に及べり（下關特電） 七日午後三時頃福井市[illegible]附近より出火し

○午砲臺移轉か

鮮銀前の廣場は交通の不便なるに加ふるに京城神社建立等の事情もあり來る七八月頃迄に他に適當の場所を選定し移轉することゝなりたりとの說あり移轉地に就いては未だ公表の時期に非ざるも多分南山町上の孝昌園附近なるべしと傳へらる

○屍體漂著

七日午前八時頃漢江人道橋を去る上流二百五十間位の箇所に內地人男の溺死體が漂著した同報に接し龍山憲兵分隊より係り官出張取調たところ既に五六十日を經過したらしく全身腐爛して居た爲何處の何者とも判明せず身柄は同日京城府廳に引渡されたり。因に死體は推定年齡四十歲位覺悟の自殺らしいと

○相撲番附今昔譚

船の中で相談 其編成は秘密

五日東京大相撲番附發表の朝本所元町の根岸版元の家の前には午前三時頃から取的連がワイ〳〵詰め掛けてる午前四時奧の藏から十二萬餘枚の番附が運び出され先づ初刷一枚を神前に供へてから丁度五時木戶が開いて待ち構へた取的が雪崩込み暗窖の間に大きな束が抛き出される出羽海の二萬三千、峯崎の一萬二千、入間川の一萬、友綱の六千なども大口で瞬く間になくなつてしまふ番附販元根岸は當治右衛門氏で丁度九代目に當り

◇初代根岸 は神田金澤町に居り其後神田三河町や新銀町に居た人もあつた昔は木版手刷であつたが明治になつて藥研堀の興信社といふに頼んで機械刷に改めた。其所の職工から漏れて

◇番附發表 前に世間に分かり俄に組直しをしたなどの失態があつたので其後二三ヶ所ばかり印刷局に頼んで後十數年から今の根岸の所で刷るやうになつたのである價は最初六厘で八厘、一錢と二度値上げし現今は

◇十一二三年 前の一錢を踏襲して居る、所が物價騰貴で白紙だけでも八厘するので賣れる程損が立ち閉口してるさうな五日發行の十二萬枚は殆ど一時間も經たぬに賣切れたのでまた三四萬枚追刷りをした番附編制は非常に秘密に行はれることは人の知る通りで是れが爲め昔は船の中で會議した事もあつた相な（東京）

○新十兩力士

東京大相撲力士中新たに十兩に昇進せる者左の如し

▲佐賀錦 佐賀縣佐賀郡金立村字藥師丸內川寛市（二七）と云ふ、十八歲の時雷部屋に入り三段目となり一時商館となりて橫須賀重砲隊に入營、除隊後再び力士となり、大正六年五月幕下尻一枚目に附出され、昇場所好成績を收めて今回十兩となり左四つ投げを得意とせり

▲能代潟 秋田縣山本郡琴村[illegible]山石田石松（二五）と云ふ、錦島を頼んで上京、同人の弟子となり、大正三年夏幕下に附出され突山と名乘りて土俵を勤め、七年五月能代潟と改む、前場所の好成績により今回十兩に進めり、左四つ

▲明治野 栃木縣河內郡明治村の產、野澤三四郎（三六）と云ふ十七歲の時伊勢海の弟子となり、明治四十四年幕下となる病氣等の爲め昇進遲れ、今回漸く十兩となる、左四つ押が得意とせり

▲高の山 和歌山市卡半町の生、宮尾三郎（二四）と稱す、十四歲の時出羽海の弟子となり、明治四十三年五月序の口に出世し、大正六年五月幕下今回十兩に昇進す、投げを得意とせり

▲太刀海 島根縣能義郡大塚村の產野津貞助（二六）と稱す、明治四十五年七月東關（太刀山）の門下となり、前角力より取進み、大正六年夏幕下に累進今回十兩となる、丈五尺八寸胖に左四つ得意とす

▲鞍ケ嶽 熊本市新町一丁目の產上田善三郎（二二）と稱す、大正二年十一月中東關（太刀山）の弟子となり、努力により取進み六年夏幕下となり、今回十兩となる體重三十貫、丈五尺六寸五分、左四つ小手投げを得意とせり

▲龜田川 秋田市土手長町阿部祖二郎（二四）と稱す、大正元年春前の角力となり、前角力より取進み累進今回十兩となる、身丈五尺七寸五分、體量二十二貫、左四つ吊出しを得意とせり

○電車の脫線

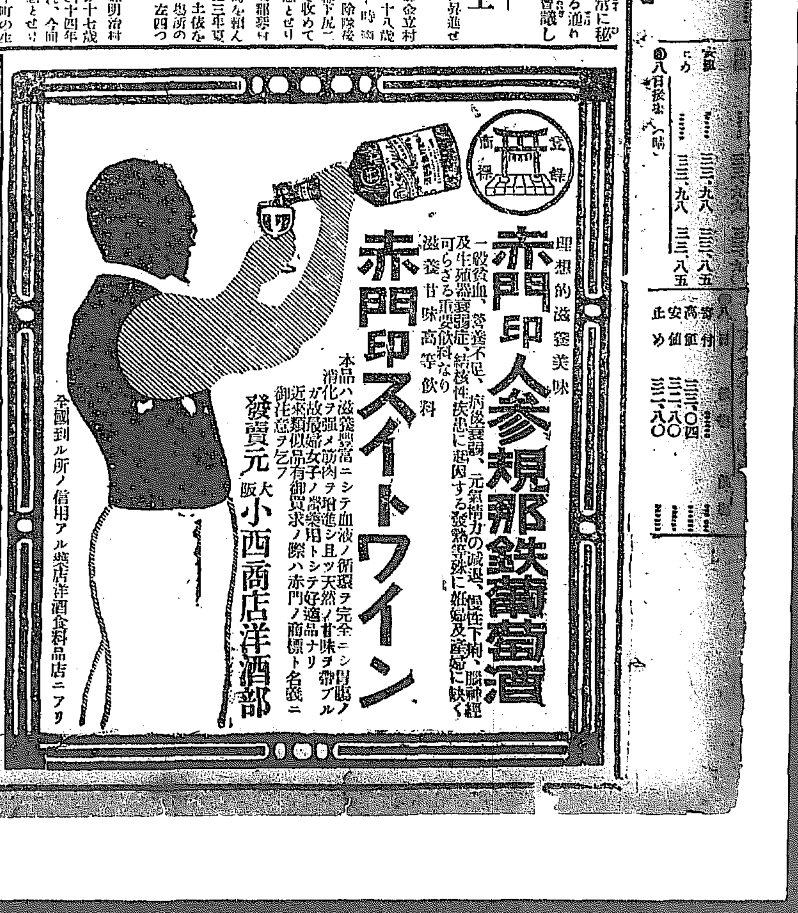
八日午後一時二十五分頃舊龍山終點附近で第八十八號電車が線路の分岐點のポイントが開かれてあるのに氣附かず疾走した爲め運轉手がポイントを見附た時にはブレーキも役に立たず美事に脫線したが幸に乘客其他に故障もなく脫線の場所が終點附近であつたので交通にも大した支障が無かつたのは仕合せである

○レート視察團

レート化粧品本舗大阪支店主催九州化粧品卸商の視察團一行三十餘名より成る朝鮮視察の行程は左の如し、去る八日夜下關より乘船、九日釜山上陸、同日午後七時五十分京城着京城ホテルに投宿、十日市內見物十一日朝鮮ホテルに於て晩餐會を催し、十二日午前九時五十分南大門驛發同午後四時平壤着、柳屋旅館に投宿、十三日午後一時平壤發同七時二十五分京城に引返し同夜京城ホテルへ投宿、十四日午前八時五十分京城發同十時仁川着、同午後五時仁川發三時京城へ引返し十五日午前十時京城發同夜釜山着、直ちに東萊溫泉に向ひ鳴戶旅館に投宿し翌日午後釜山發歸途に就くべしと

演藝

▲壽座 この替り時川家一行好評は好評を生み毎夜爪も立たぬ程の大入を占め居れるが八日よりこの替りにて一層の人氣なり ▲[illegible] ▲所作事[illegible]



みだれ咲き

第二十二回　島山碧波作　森田久畫

不遇の佳人操子は、自動車の逆轉手牧野の注意に依り、我が一家が恐るべき惡魔のために呪ひの的となつて居るのを知つた、屑をなして襲つて來た黑い雲は、今や全家を蔽ひつゝあるのを知つた。

『斯うは恐いてあるが、萬一牧野に恐ろしい考へがあつたら？』

總ての事に戰々兢々たる彼の女は殆んど生命賭けの思ひで牧野の探つた情報にまで疑念を挾むやうになつた。

『斯んことを思つては彼の男に對して濟ない』

操子は何とかして穴八幡の境内で實母に逢う前に牧野と會見したいと思つて居た。我が儘に育つた令孃なら、直にも自分の部屋へ呼び入れるであらうが、萬事に内氣な彼の女はそんな事は到底出來なかつた。

『お孃さん、あんなに鈴が鳴つて居ります』

伯父からの電話に胸を躍らせて居たが、幾分の苦等に立つことを忘れて居ると、再び部屋の外に佇だ女中が大きな聲で呼んだ。

『さうく お父樣の御病氣のことを考へて居て電話を聽くのを忘れたわ』

殊更に微笑を浮べた操子は、大なる不安と、大なる疑惑の念を抱いて電話室へ入つて行つた。

『きうもお待たせ申して相濟みません、私、操子ですが伯父樣で居らつしやいますか』

『あゝ俺だ』聲の主は確に伯父であつた。數分間前までは、自分の爲に天下に唯一人の同情者であると信じてゐた恐しい伯父であつた。

『何か御用で御座いますか』

『外でも無いが是れから一寸俺ん處へ來て呉れ』

ハッと思つて顔色を變へた操子は、

『伯父さん電話では分らない御用ですか』

態と甘へた句調で訊して見ると、

『實は先刻行つた時に話さうと思つたが、成るべくならお前と二人切りで話したいことだから電話で呼んだのだ』

『さうですか、夫れでは直に伺ひますわ』

『待つて居るから屹度來なさいよ』

まだ三番町の邸では戻らぬ連中も見ゆ伯父の掛けて來たのは自働電話であつた。

『こんな御用だらう』

彼の女は牧野からの報告を手にして居るから、伯父の邸を訪れるのが不安であつた、夫で無くても自分に無縁を附けやうとする奉公人の多い中を、彼の女は一人で訪れる足が重かつた。

『龍雄さんが學校から歸つて來たら一緒に行かう』

彼の女はさう決心してしまつた。萬一夫に對して伯父が怒るやうなら愈々我が家を呪ふ惡魔であるから、夫に對する善後策を考へる必要がある、斯う思ふと些か心に餘裕の生じて來た操子は再び自分の部屋へ入ると我が家の將來や自分の行末に考へを走らせて居た

『お孃樣……』何時の間に廻つて來たのか、牧野運轉手が庭先から不意に聲を掛けた。

『あら牧野……』磁石に吸ひ寄せられる鐵のやうに、我れを忘れて縁先へ走り寄つた操子が。

『先刻の手紙は確に見ましたわ』

『お孃樣、三番町樣は御當家を乘つ取る御量見ですから御油斷をなさつては不可ません』と、息を喘ませながら語つた牧野か。

『夫れはさうと、お孃樣、奥樣が來て入らつしやいますがお逢ひになりますか』と、遂に氣を配り乍ら操子に訊した。

『ねッお實母樣が……』と、愕愕の聲を洩した操子は、

『ソそうして何處に居らつしやるの？』

『自動車置場の隣にある、附屬品の物置小屋にお隱し申てあります』と、告ける牧野の聲は涙に曇つた

『ねッ物置小屋に？』ハラくと落涙した操子は、非常に慌て、

『直に行きますわ』と答へて心も空に我部屋に引返した。

◎半襟と片側帶　波と水と千草

絹人も羽織も脫ぎ捨てられてあやめ時の今樣姿が背景に照り榮る頃半襟は早くも

◇絽織に變つた、今年は鼠がかつて持て囃される、但鼠と言つたとて、直にボケた色と早合點しては大違ひである、系統は鼠を脫しないけれど、鼠に加味された色の好みは、複雜であつて、到底筆では描き出されない、藤を含んだもの茶を含んだもの、青味赤味の物など概して言へば何處迄も刺戟の少い色合であり、尤も極若向には藤も淺黄も青磁もある

◇刺繡は極く 淡泊な内上がりの小波に黑糸をあしらつた千鳥、大洋の波に水禽、波に帆船、波の花等が上品な古踏式に或は奇拔な油繪式に現はされ其他は柳、女郎花、桔梗、撫子など色糸としては青を淺黄に淡紅位

◇地質は金紗地 に堅絽立絽り絽などを普通とするが今年は上等物には楊柳の好みありて臨き類似紗の絲の七本絽或は三本絽の如き又無地絽は刺繡物以上に上流にも意氣向きにも喜ばれる

◎大阪財界便り

界は漸次復活氣に向ひ株式[illegible]大なる疑問にして之を公平に觀察すれば假想的樂觀より胚胎せる

▲假想的回復 [illegible]なるも株式市場が若しくく驟騰せるならば[illegible]ることにより大阪に於て此の逸を以[illegible]る、即ち休戰後一般商品は反動的に暴落したが是等商品の仕入値[illegible]商人の手持品の整理を名として[illegible]成るべく値下げせしも歸する處は自家の[illegible]を改めたるのみならず(二)株式[illegible]的にして稍恢復せんとすれば直ち[illegible]國か擴大せられたると(四)一部[illegible]悲觀活躍其効を奏し巨額の買賣が[illegible]はれてあるとに困るものである[illegible]的に景氣を轉換せんとする不自然の小康と謂ひ得らる即ち之を[illegible]想的なる樂觀より胚胎せる不自然の人氣は更に或時期に一轉化する[illegible]もの、如く觀察される(朱□)

夜店の領分

▲市内の青年男子に申上ます赤誠山の方、□り、命無き物を忘れ大に奮闘す、決心で居ろう、一靑年あらば誠に失禮ながら紙上を借りて、所在地御知らせ下され、僕は今年二十七才身體健康にて少しは英語も心得て居る者、一日も早く小泉に迎り度きも、今年卒業に召集されるので殘念ながら、十月頃迄には召出來ぬ返事を一青年あらば、今の内にかたく約束が致し度き者、くはしき事は逢ふての上に(青年生)▲サイ樣誠に有難う御座ります、貴女のやうな方がいらつしやる事を私、深く喜びます、今までの一睡、のいらつしやる事ならずに殘念でした、私は近く懷しい新羅へ歸つて都近くへ行くになりました、然し互に淸い文藝の愛好者です、お逢は趣味の爲め生きろです、お手紙は受け付け下さい、あなたが御離が對明致しません、見よ自然は新綠の世界と化しました、若葉にさやぐ風のひらめき心が躍動してやまない、大いに歌いませう、若い詩人サイ樣よ(新荒のミリ)▲御新生の投書に對する事實は問題となつてゐませぬから、御まぜの御投書は両感です、(編輯局の一人)▲顔に麗物のあるが拭痕の樣に殘つて居りますの治します方法はありませんでせうか(一少女)▲大和町孤子樣へ申上ます、南京虫に喰はれてお困りさの事、喰はれると直ぐならば、アンモニア水を塗ればよいのですが、少しく時間が經てゐらつしやいますから局部へ、食鹽を擦り附けて就寢前摩擦なさい直く治りますよ(西大門外同性嬢)▲朔北の空に漂泊し、自問自答する假心者よ、無數の君が情にも泣き、大言壯語する君に果し…同右八修業ありや、君に今少しく羞恥の美あらば十年門に閉ちて頭學たり、禪老泉を學べ此頃游窓よ(石女の夫)

◇娘と少年　せりな

芽ぐんだ街路の枝々
やはらかにも日光は節ります
春の衣裳がひらしい群たて、
日本の娘を裝ふ。
○
悩み教はる、少年の
頭、ひさすじに
小波よする、ひかりよする
水の青いたましいが
さけては、さくらが映る。
―八年四月―

日報俳壇

■春十句　城津　竹内館木

鷗高飛ぶ下に澄む帆や春の海
ボートレースの土手に旗振る人數哉
春雨に灯して明かき離房哉
春雨や電車を下りて甘芝居
踈まれし一つ倉去らず猫の戀
うかれやまぬ猫に明けたる客舍哉
節子や春雨を行く最合傘
布晒らす人に夕陽や土筆
草萠ゆる丘の上なる古棲哉
土手を行く灯に鳴きやめし蛙哉

日報柳壇　劍花坊選

退治る

退治ることや〜登る村の者　若年寄
狸より先きに娘が退治られ　同
退治しに來た戸締ご固くする　一笠
退治しに來ては盜賊知らぬ顔　同
手こそは有つた石地藏　鳥石
退治て一息つけば夜が明る　同
退治した大蛇にたゞ三尺　鏵庵
退治して歸參が叶ふ武勇傳　同
自働車で退治て戻る探險記　劍花坊
筆誅にけもの1心人の顔　同

るいれき
病にて永年の難症も切開せずキレイに全快する最新藥あり同病患者の爲め郵券救助の爲め郵券弐錢封入者に療法書呈す
東京芝高輪北町廿二 救生堂藥院

家傳らい病藥
頭うだばれ涙出で眉毛ぬけ體あざでき手足しびれ水ぶくれ等其他あらい病に特効の靈藥三錢切手送附あれば詳報す
神戸楠町二丁目 本家 石井佐兵衛
楠公社東門上

人から嫌われる わきが
◎根本的なほせ
◎疑ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ
◎化學的療法無代進呈
藥學界に名聲ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けんが爲めに數年間研究の結果今回最も進歩したる「チセン」藥と云ふ不思議にヨクキク藥を創見致しました是迄無責任なる素人ダマシの藥にて効無くお困りの人は彼是と迷はず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京愛藥院宛にハガキで申込めば療法の本を無代で上ます

◎不思議になほる
みゝだれ はなたれ しわがれ たむし (ほくろ あざ)
持續は人から嫌はるゝ丈なほせ醫學界に名聲ある陸軍一等軍醫音尾先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク藥を發見致しました是迄種々無責任な藥類で治療しても効無くお困りの方は迷はず一日も早く三錢切手を入「東京府大久保町西大久保五十一東京愛藥院」宛申込めば本院安全療法を實験せられる自宅治療法の本を無代進呈

一番ヨク効ク 胃活錠
胃活を加減したる理想的健胃劑にして消化と殺菌の力は
ソレコノ通リ
携帶に便利で飲むにも水がイラヌ
定價二圓、一圓五十錢、廿錢
本舖東京山田氏、全國有名藥店ニ有

梅毒 タイ毒 リウマチ ルイレキ ヒッ毒 リン毒
毒服藥
春の末夏の始は病の起る時で今の療治が一番大切で又効能も多い
注射や手術の代りに命も安く手軽に安全に秘密に療治のできる藥
現に專門病院で盛に患者に用ゐつゝある三十六代一子相傳の靈藥
説明書無代進呈す ◎取次店を募る ◎東京本所吉田町八、杉山榮山

善良にして效果偉大なる目藥
目藥は諸君の撰擇に依る衆評一致の此の藥 一瓶拾錢 東京 吉永藥房
えみず 目藥 一點水 いつてんすい よくきく 痛まず

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院
電話 二七二九番 一三九〇番

お若く見せる
クラブ白粉

お化粧の仕方
生々とお若く見ゆるお化粧を遊ばすには先づクラブ洗粉で御洗顔の後クラブ美身ゼリーを顔から襟へ掛て塗り、高尚で美しい艶の出るクラブ白粉を掌に取て指先でよく煉て付け(襟は顔より少し濃く)牡丹刷毛で白粉を延ばし水刷毛で均し温タオルで押へて白粉を落付かせクラブ頰紅を目の下から頰へ掛て薄く刷付けホンノリと櫻色になつた處でクラブ粉白粉をセーム革に付て顔に薄く打ち(襟はボットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で輕く打ちます)と花の樣に美しい艶かなお化粧が忽ち出來上ります。

お化粧の順序

人氣の集中
香水の結晶
登錄商標
香晶 結晶香水
定價金二十錢
各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり
發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤友吉商店

同じ召すならホンモノを
アリマサイダー
絶大なる殺菌消毒機にて一本づゝ完全に謹製致居候間數年間の貯藏にも堪へ得べく候